



日本は、本当に労働力不足なのか？

「眠れる労働力」を掘り起こす。地方自治体の挑戦

1. 会社概要・サービス概要 (10分)
2. 日本は、本当に労働力不足なのか？ (15分)
3. 自治体マッチボックス事業の仕組み (20分)
4. スポットワーク市場のトレンドと課題(10分)

2026年5月28日(木)

株式会社Matchbox Technologies (マッチボックス テクノロジーズ)

会社概要/自己紹介

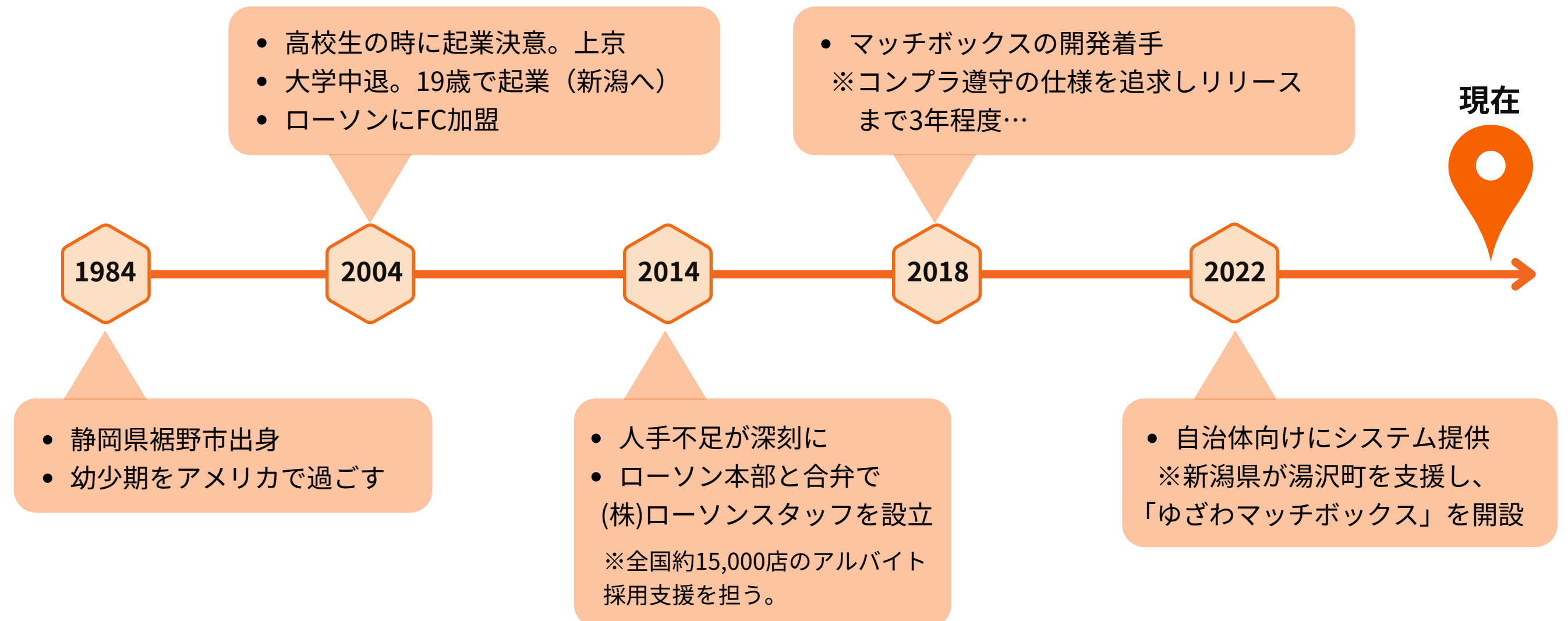


代表取締役 CEO
佐藤洋彰

1984年 静岡県出身
2004年 株式会社Fusion'zを創業
2014年 ローソNSTAFF（株）を設立
2015年 株式会社Matchbox Technologiesを設立
幼少期をアメリカ・デトロイトで過ごす。
中央大学を中退し新潟県でFusion'z創業。
ローソン1店舗から日本最大級の加盟店に成長。
2014年に株式会社ローソンと合併でローソNSTAFF（株）を設立し、同法人の取締役に就任。
2015年7月にはデジタル技術を活用したスポットワークアプリ“matchbox”の開発・運用を目的に（株）Matchbox Technologiesを設立。

会社概要

法人名	株式会社 MatchboxTechnologies
本社所在地	新潟県新潟市中央区女池上山3-14-10
本部所在地	東京都千代田区、大阪市中央区
設立	2015年7月（創業2004年11月）
資本金	4.3億円（資本準備金含む）
取締役会長	池田 弘
代表取締役	佐藤 洋彰



マッチボックスの挑戦・提供するサービス

●WHY? (なぜやる)

「日本の労働力不足」を解消する。

●HOW? (どのように)

「眠れる労働力」
を掘り起こす。



働ける人を増やす



働ける時間を増やす

●WHAT? (何をする)

自治体・企業向けに、
スポットワークの運用システムを提供。

公開型のプラットフォーム

誰でも応募できる
スポットワーク
サービス

自社専用のマッチボックス

人財をためて
自前でマッチング



スポットワークの運用システム「マッチボックス」について



公開型と自社専用型の2つのマッチボックスで、
企業・自治体の課題や目的に合わせたスポットワークの運用を支援します。

公開型のプラットフォーム

公開環境

誰でも応募できる
スポットワークサービス



2重構造



match
box

複数企業

単独企業

自社専用のマッチボックス

閉鎖環境

人財をためて
自前でマッチング



公開型のプラットフォームについて【出会いをつくる】

〇〇

による、

〇〇

のための、スポットワークサービス

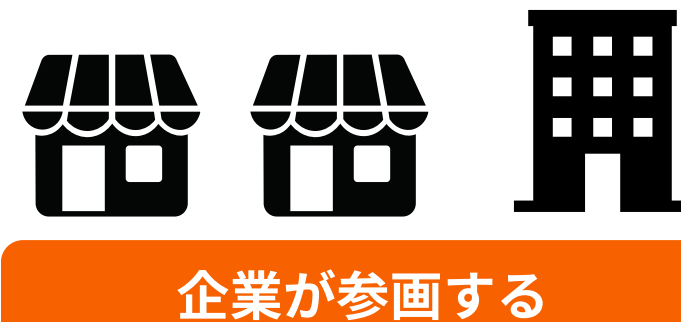
- 自治体（県/市町村）
- チェーン本部
- 業界団体

- 地域企業/住民
- 加盟店
- 会員企業

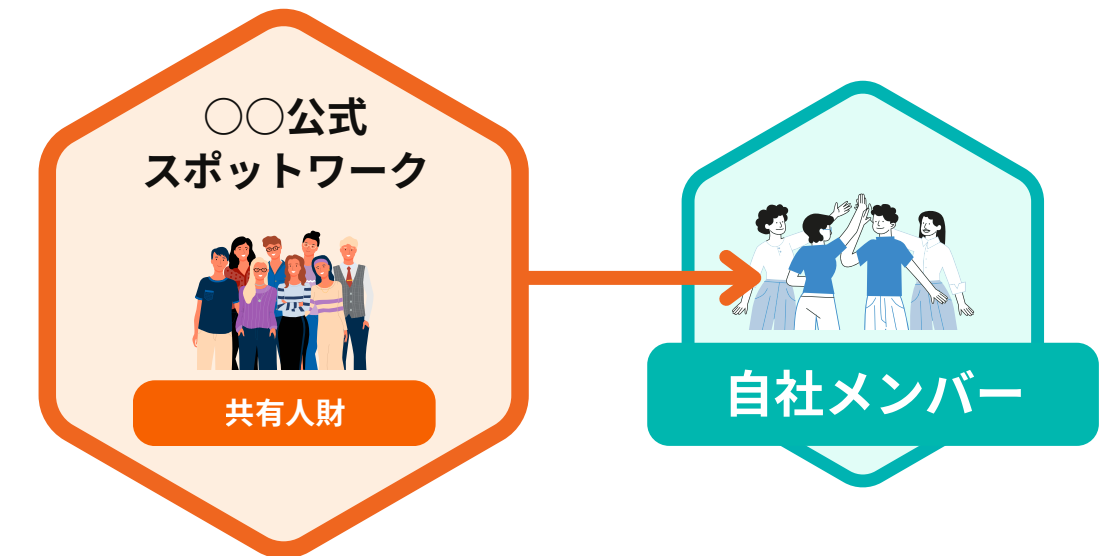
1 環境をつくる



2 提供する



3 つなげる



公開型のプラットフォームの例

〇〇

による、

〇〇

のための、スポットワークサービス

佐渡市が主体。
地域企業・住民の就業支援



マクドナルド本部が主体。
OB/OGの復職支援



イオンモールが主体。
テナント企業の採用支援



ローソン本部が主体。
加盟店とクルーの就業支援



自社専用マッチボックス 🍷 自前でマッチングする「セルフソーシング」

1 つくる



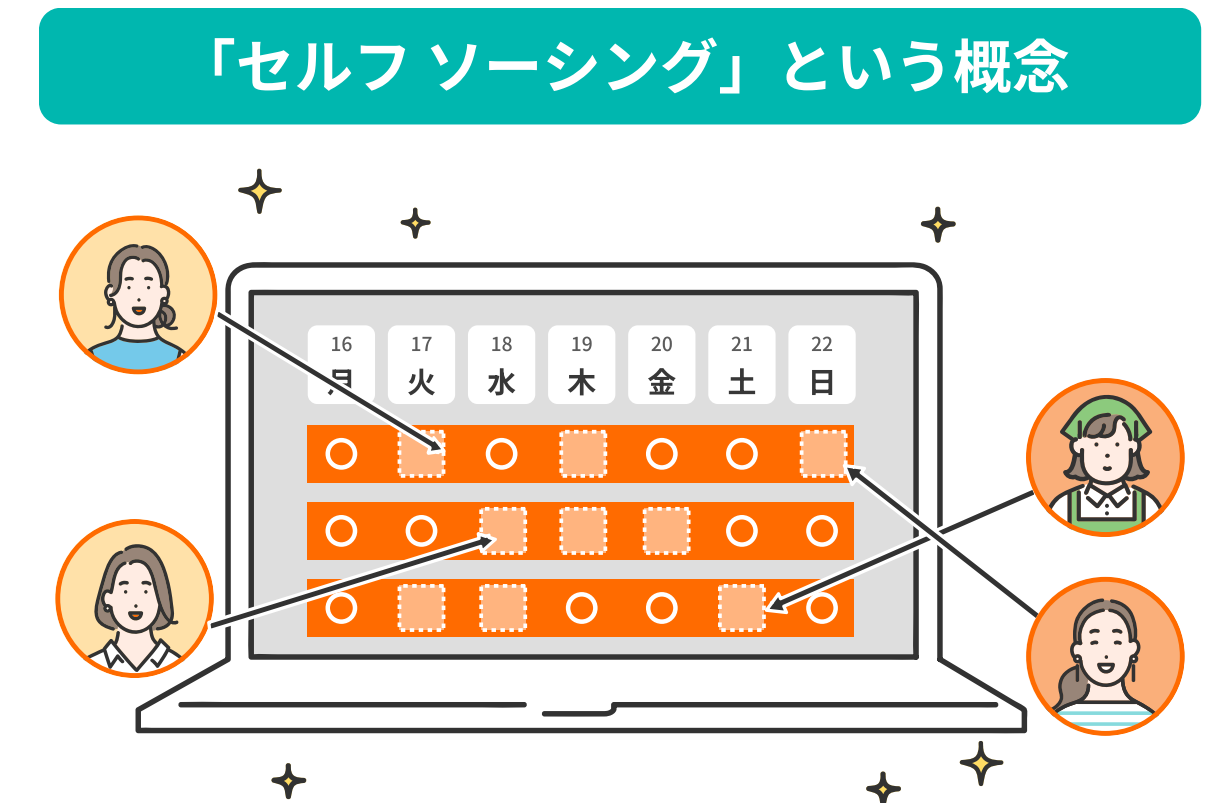
「自社専用のマッチボックス」にアルバイト、OB・OGを「自社メンバー登録」して人財プールをつくります。

2 ためる



自社メンバーをためる。
※定員数の倍を目指す！

3 シフトをまわす



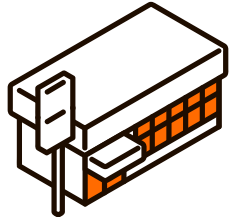
空いているシフトを公開すると、メンバーが自ら手を挙げてくれます。

「セルフソーシング」の活用イメージ

- ✓ 出会った人財を資産に変える。(信頼できる人財を登録する)
- ✓ 1日単位だが、継続してシフトに参加することが前提。(その場しのぎの単発バイトではない)

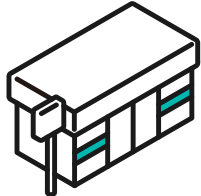
A店

19 木	20 金	21 土	22 日
☐	☐	☐	☐



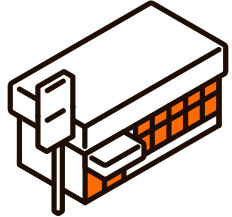
B店

19 木	20 金	21 土	22 日
☐	☐	☐	☐



C店

19 木	20 金	21 土	22 日
☐	☐	☐	☐



シフト応募画面



そのシフト、働けます！



現役従業員



OBOG

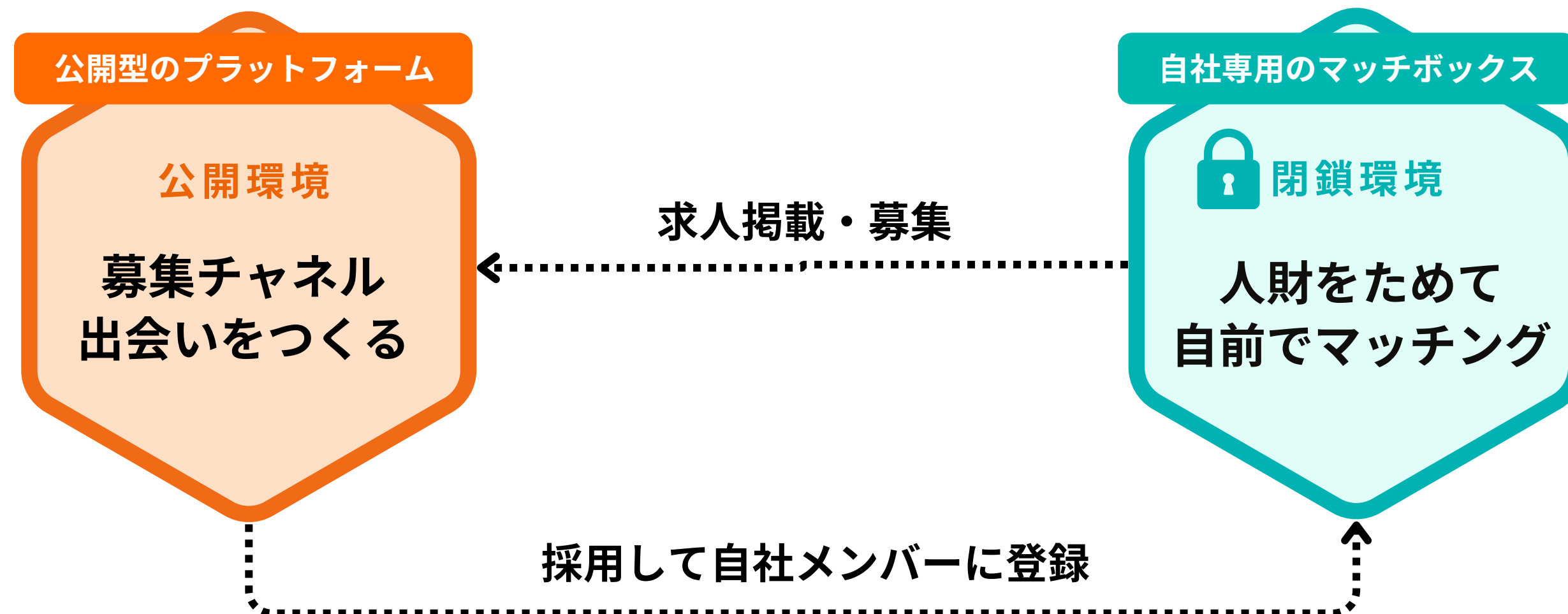


スポットワーカー

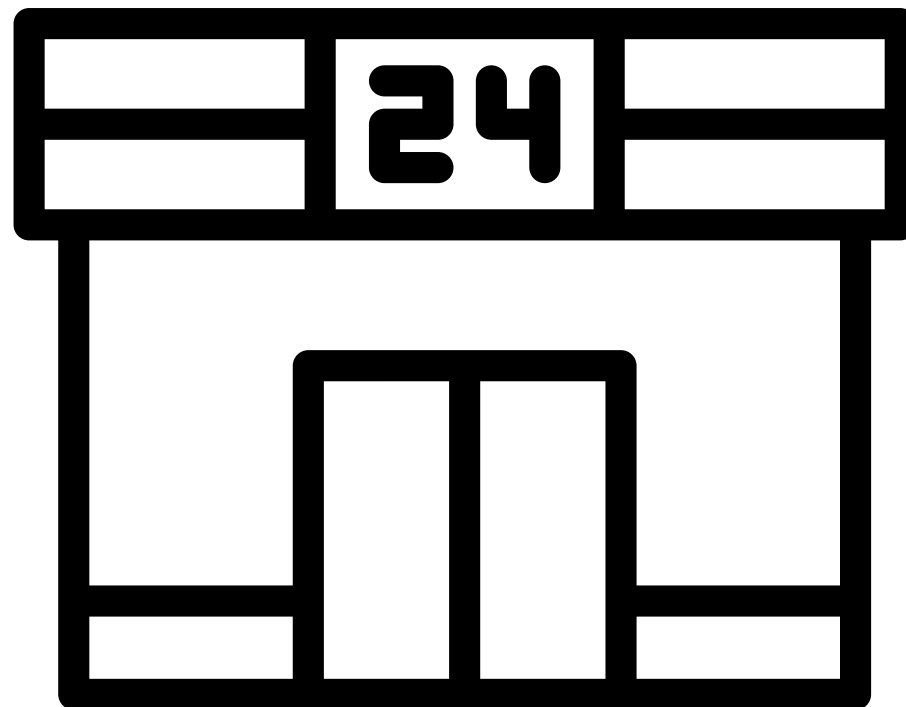
スキルや時間を活用

15分単位で応募時間の調整が可能
シニア層や主婦も参加しやすい

2つのシステムを併用すると効果的！



**なぜ、コンビニオーナーが
スポットワークのシステムを開発したのか？**



私自身、深刻な人手不足で悩みました。



疲弊する店長

- 急な欠員が出る
→ 店長が緊急出勤



辞めるバイト

- 欠勤時は自分で勤務者を探す
→ プレッシャーで辞める



悩むオーナー

- 店長が疲弊して退職 → 採用費・研修費・残業代は、ほぼ「固定費に」
- 派遣スタッフでは「即戦力」にならず、「費用も高い」
- これ以上、新規出店ができない…

●ローソン専用のマッチングサービス
があればいいのに...



スポットバイト

ローソンの共通人財

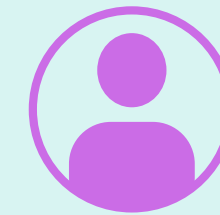
●そもそも・・・

「OBOGや現役スタッフ」の空き時間を活用する
自社専用のマッチングシステムがあればいいのに。



友だち

(元派遣/スポット)



OBOG

(元現役)



現役スタッフ

自社メンバー



悩むオーナー

世の中に無いので、自分で創ることにしました。

募集して、人財データを貯めて、自前でマッチングできる仕組み

- 「チェーン全体」と「自社内で」人財が循環し、
- 効率的な人員確保と、店舗運営の安定化を目指した。



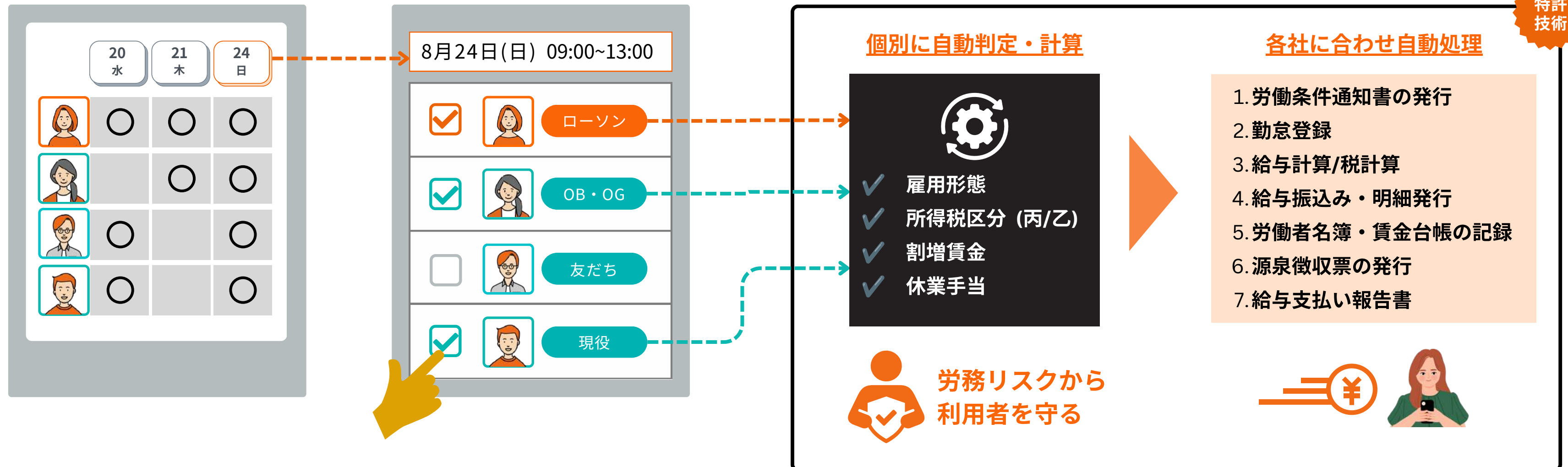
こだわりポイント：法令遵守の徹底と効率的なマッチング

- 企業は応募者を選考でき、直接雇用によるマッチングを行います。
- 割増賃金・休業手当などは自動計算され、求職者に送金されます（運営事務局が立替払い）
- 雇用手続き、給与計算・振込、源泉徴収票、給与支払報告書の発行まで自動化します。

① 1日単位で求人を掲載。
応募者を一元管理。

② 最適な人を選考！

③ 求職者に合わせ労務処理を自動化！



※帳票データはダウンロードや出力が可能



実際に創って分かったこと

当社が経営するコンビニエンスストア
40店舗の実績

2025年6月～2026年5月15日の実績データ

発見① 人手不足を解消できた（空きシフトが埋まる）

- ✓ 掲載した空きシフトに対し期間平均の応募率は **127%**
- ✓ 新規採用費・現役スタッフの時間外労働は **激減**

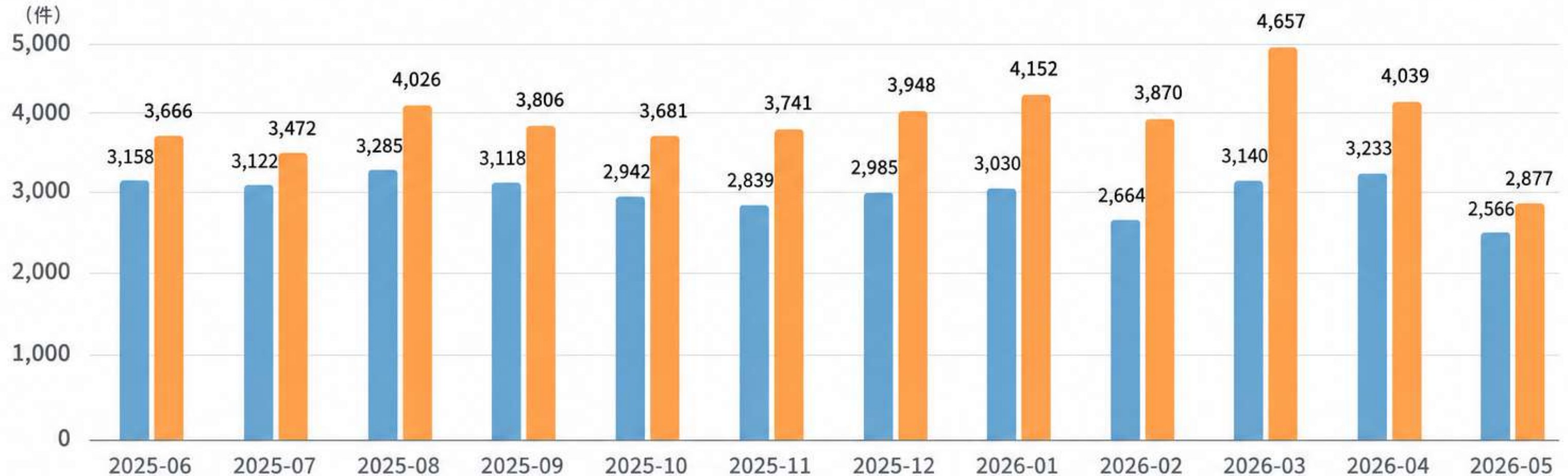


みんなでシフトを埋める。
みんな助かる！

■ 月別の掲載と応募件数

● 掲載件数：36,082件

● 応募件数：45,935件

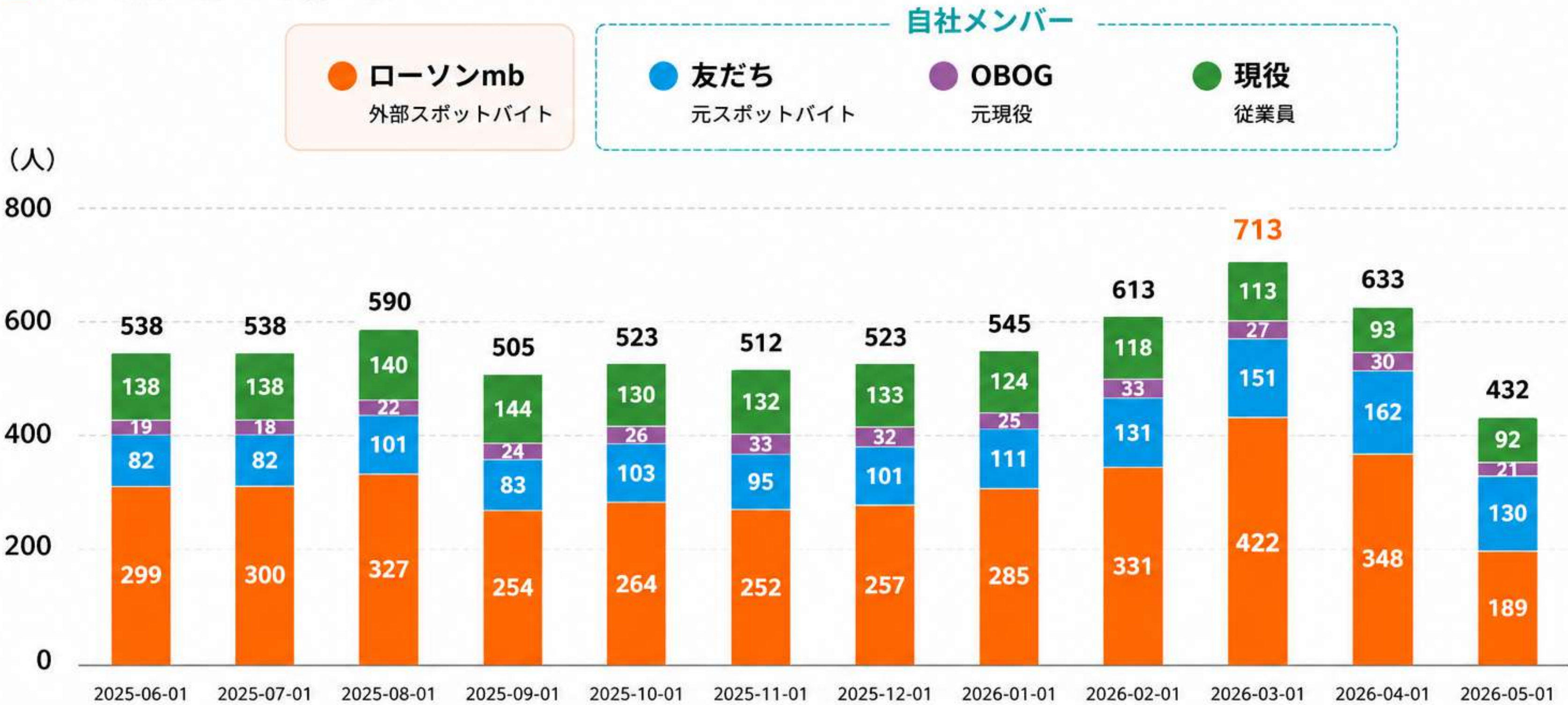


ポイント

応募件数が掲載件数を上回ることで、シフトが安定的に埋まり、
人材不足の解消と業務効率化につながりました！

発見② 「内・外」に求人を掲載する事で、「働いてくれる人が増えた」

月／属性別の応募人数



発見③ 予想外の地域から応募者が来た

■ 当社店舗への応募者の分布（2,473名）



※私たちが経営する店舗は、新潟・埼玉・東京・神奈川



ローソン共通人材

全国から応募あり

自社メンバー



友だち



OBOG



現役

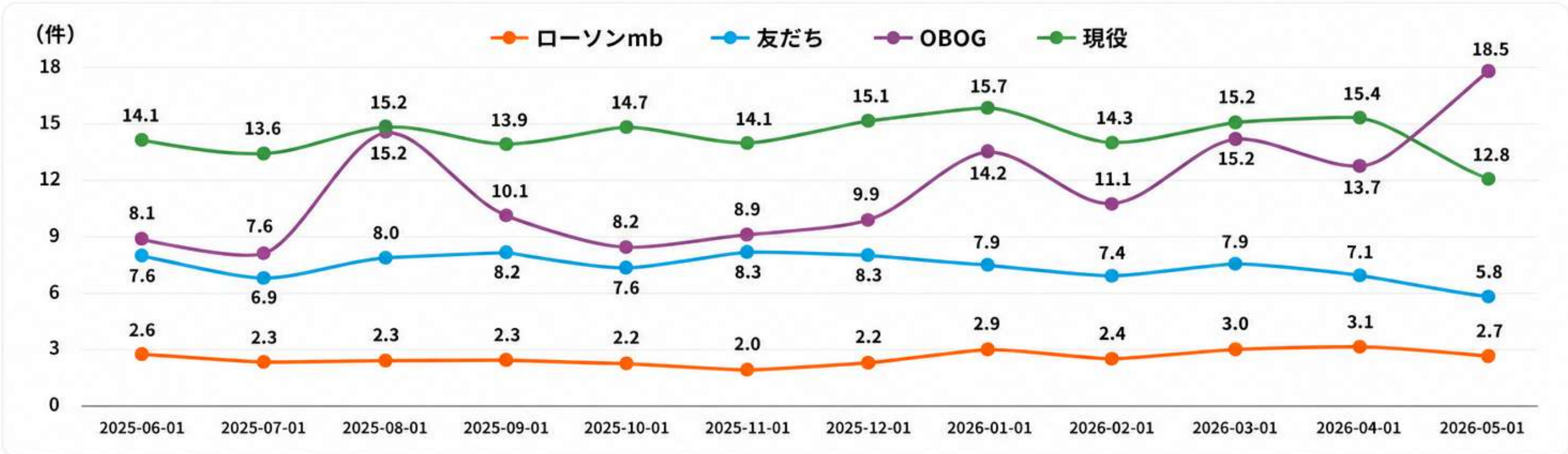
店舗・県を超えて応募あり



店舗がある地域だけでなく、
全国・広域からの応募が集まる ことが明らかになりました。

発見④ 信頼関係が深まると、たくさん応募してくれる

■ 1人あたり月間の応募件数（属性別）

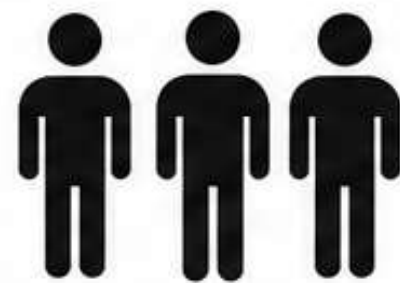


関係性が深まるほど、1人あたりの応募頻度が高くなる傾向が明確！
つながりを育てることが、安定的な人材確保につながります。

結論：仲間が増えると、みんなラクになる

現役スタッフ

431 名



1店舗あたり 約11名

自社メンバー

2,466 名



そのシフト、
働けます！

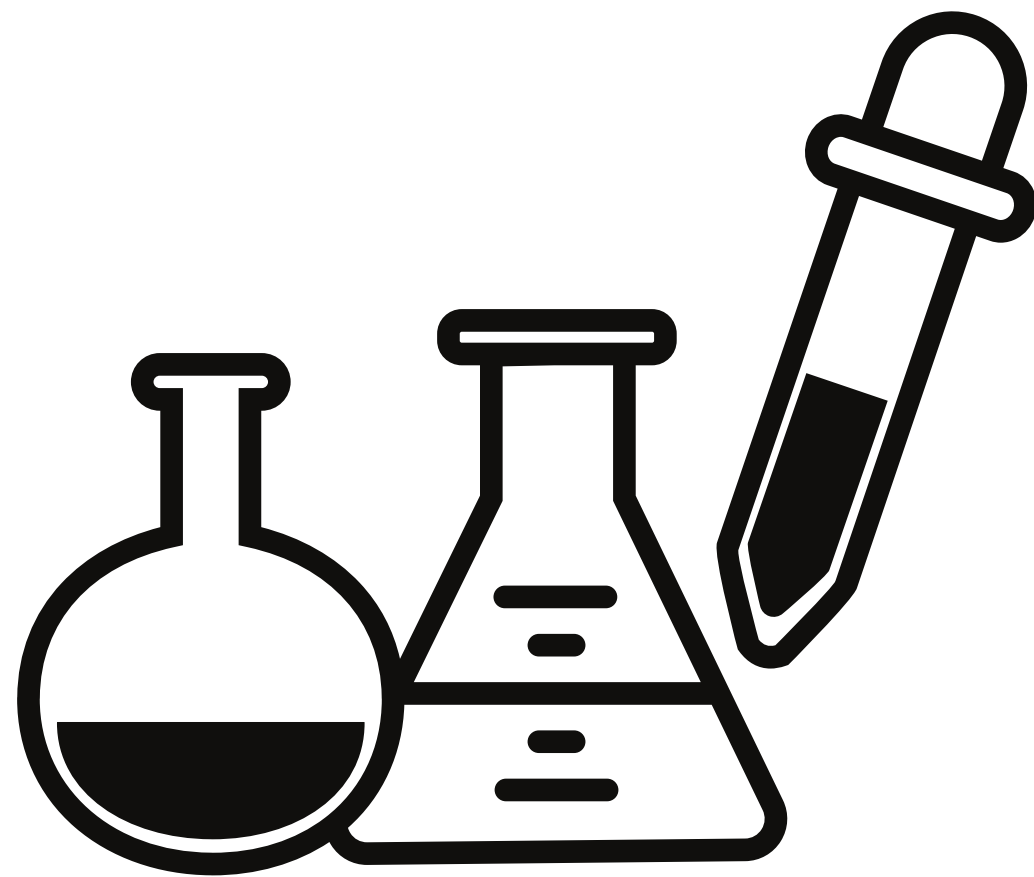
1店舗あたり 約61名

※現役スタッフ含む



現役スタッフの約**5.7倍**の自社メンバー基盤を構築！

他社、他業種、他地域でも再現できるか？

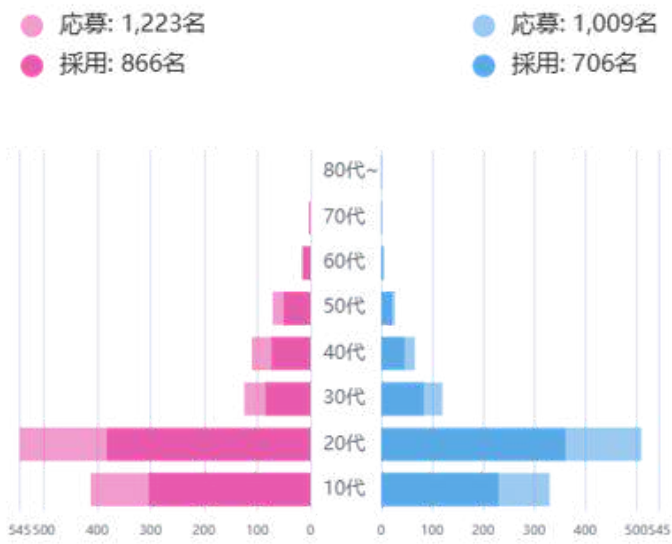


1 自社メンバー人数

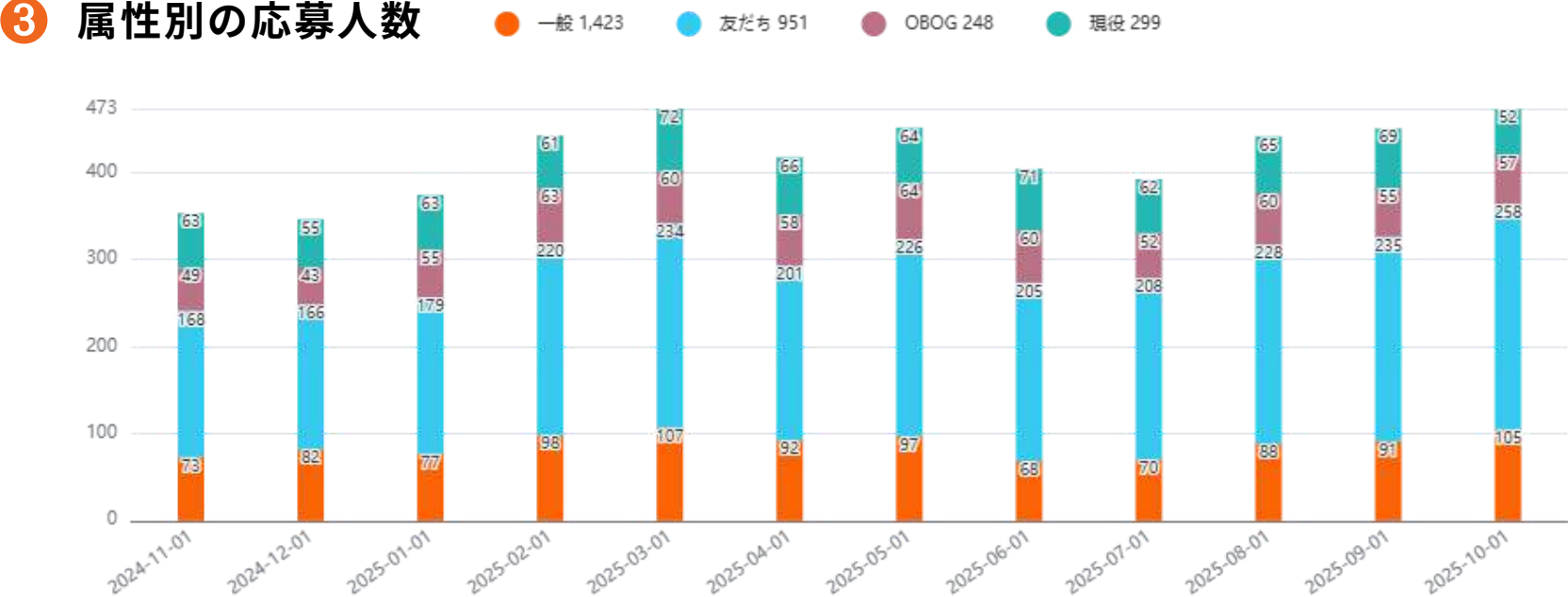


2,004 名

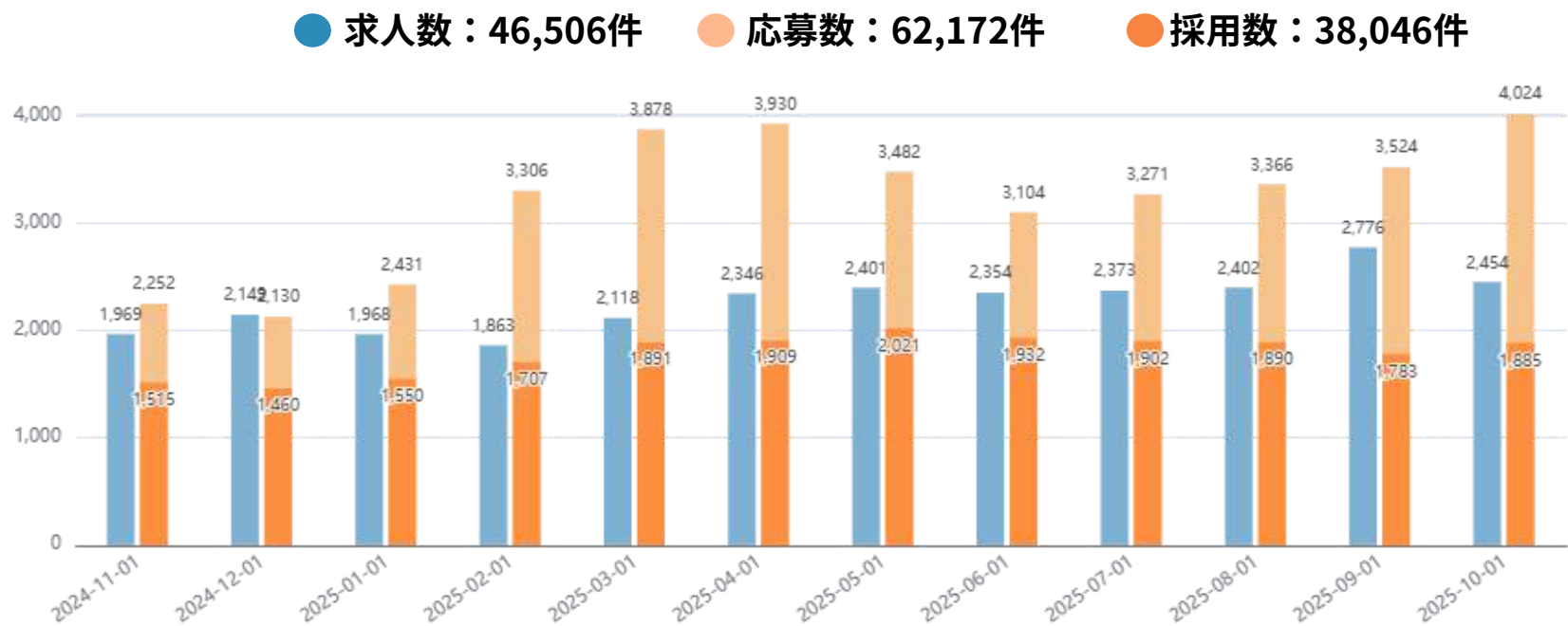
2 応募者 (男女別/世代別)



3 属性別の応募人数



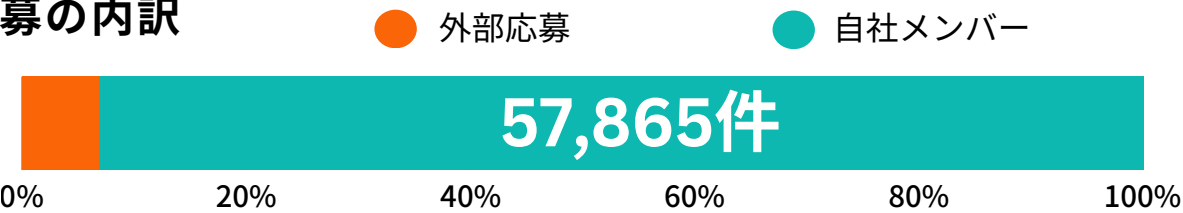
4 月別の掲載と応募件数



👍 期間平均の応募率143%

👍 自社メンバーからの応募 93%

5 応募の内訳



6 取り組みのポイント

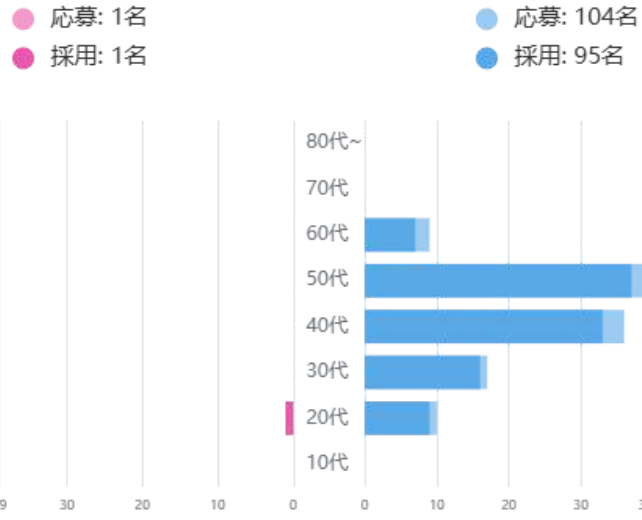
- ✓ 社内の運用ルールを徹底した (メンバー登録・シフト掲載)
- ✓ 常勤者の3倍の自社メンバーを確保
- ✓ 急な欠勤、新規出店にも対応できる体制に

1 自社メンバー人数

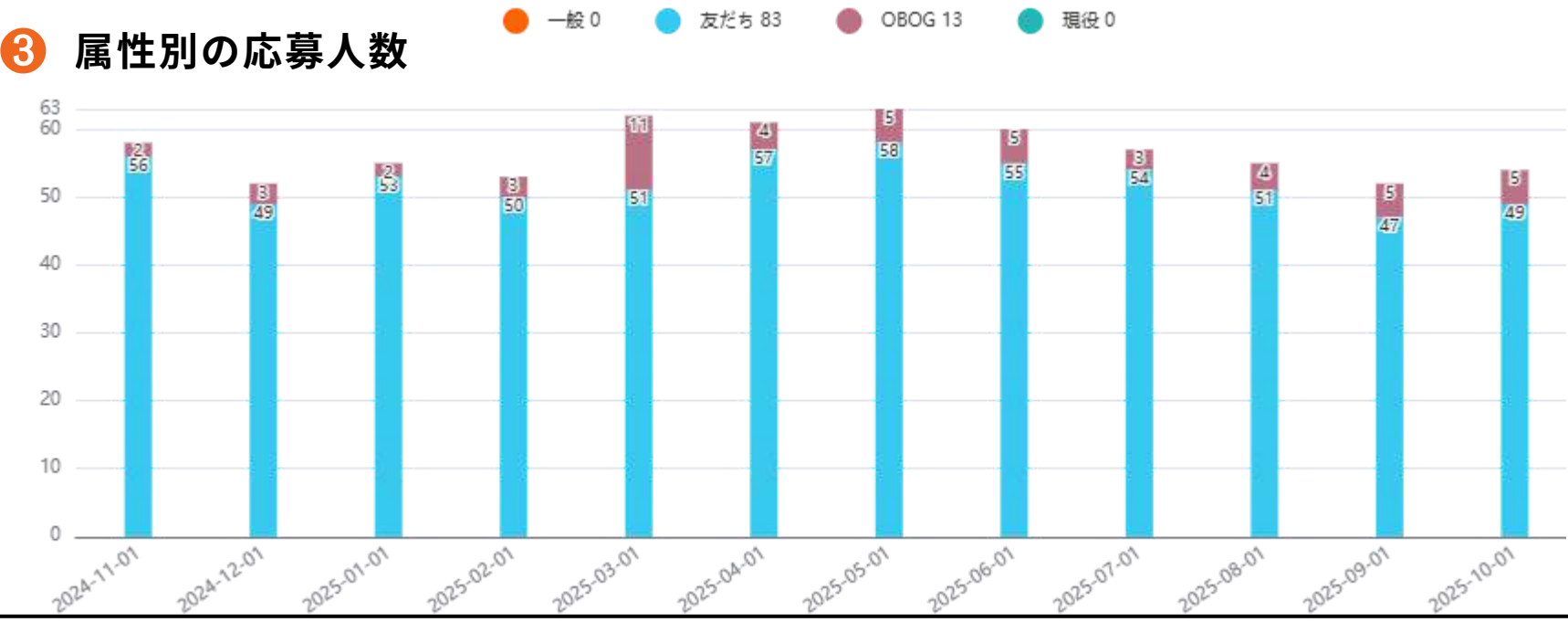


344 名

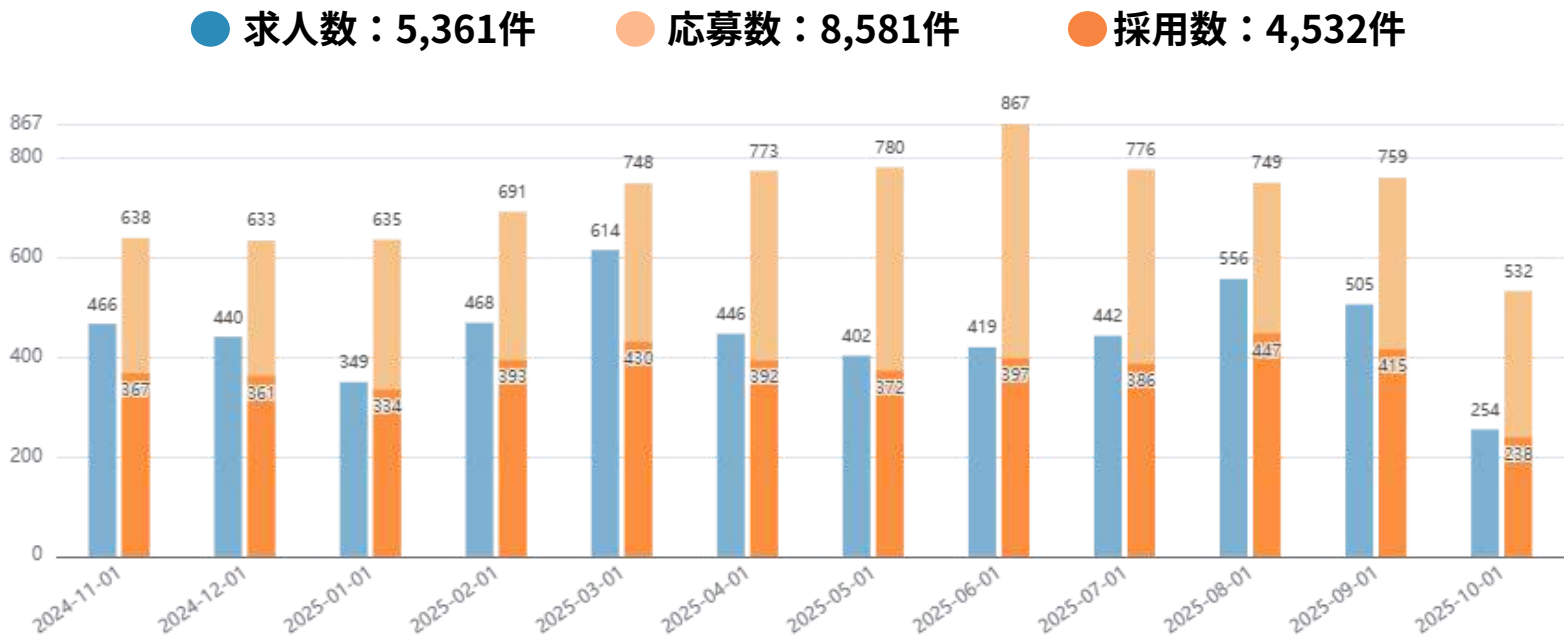
2 応募者 (男女別/世代別)



3 属性別の応募人数

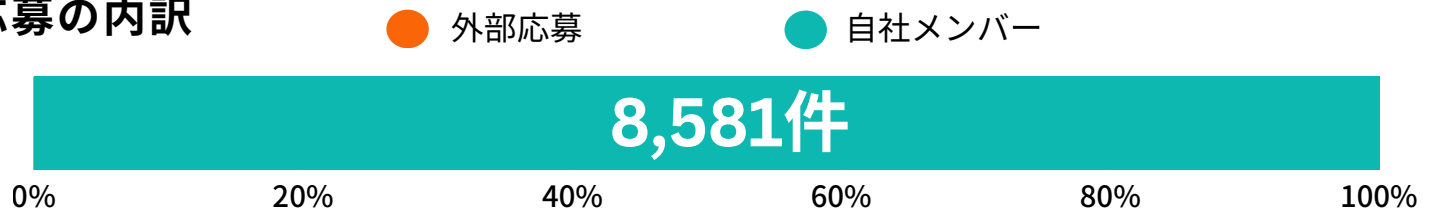


4 月別の掲載と応募件数



👍 期間平均の応募率160%

5 応募の内訳



👍 自社メンバーからの応募 100%

6 取り組みのポイント

- ✓ 退職者、スポットワーカーを積極的に自社メンバーに招待
- ✓ 自社メンバーの定着を意識した
- ✓ アウトソース費用を大幅削減

👍 シニアが活躍

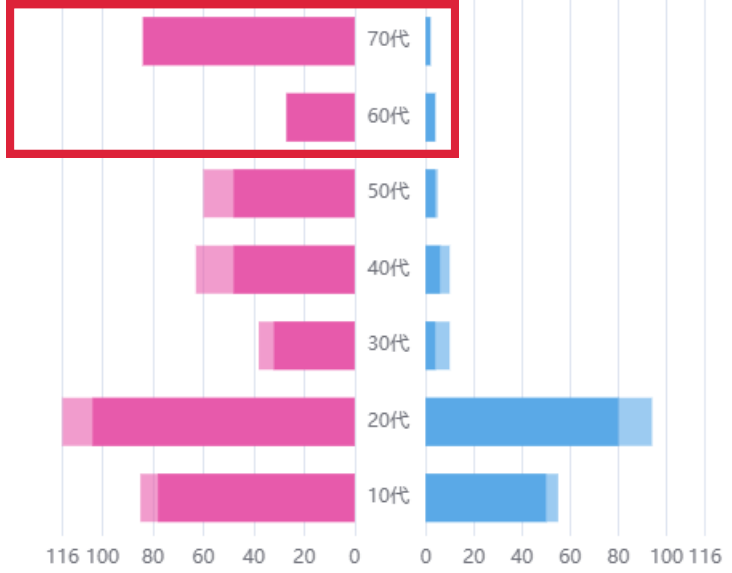
👍 OBOGが活躍

1 自社メンバー人数

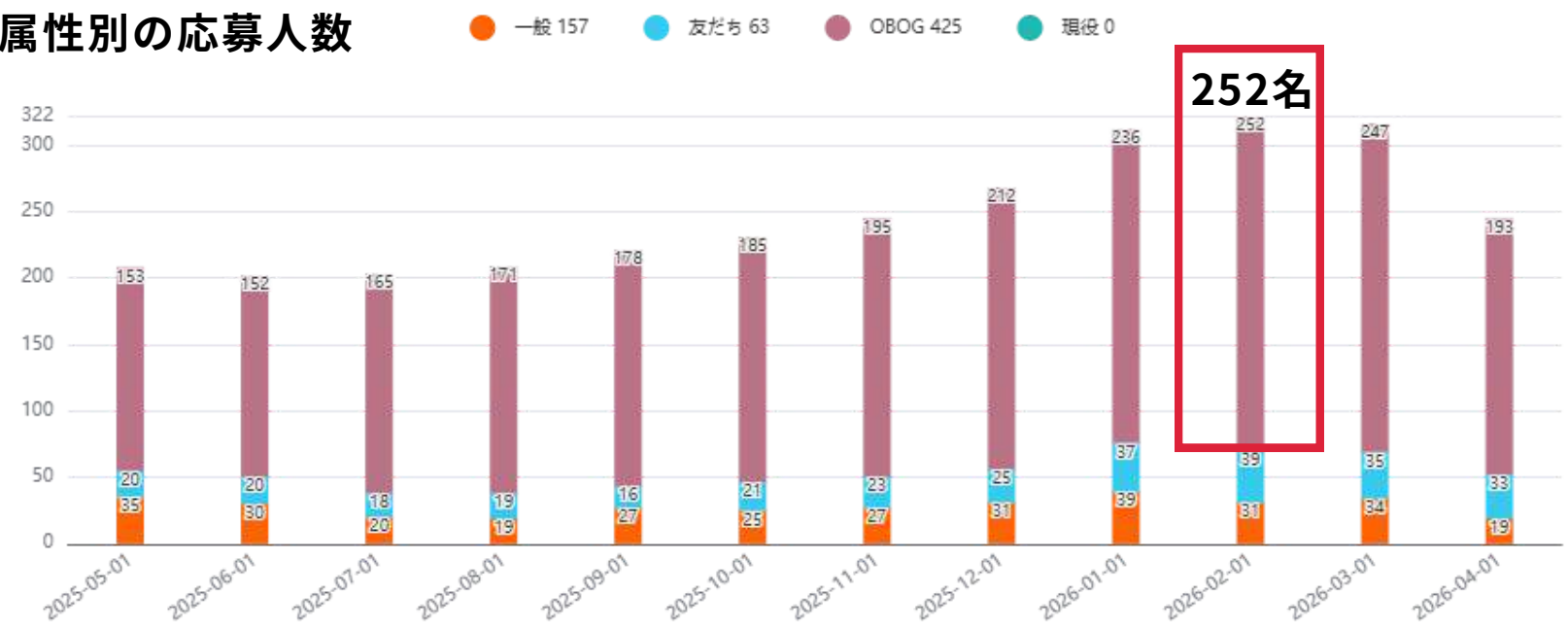


1,575 名

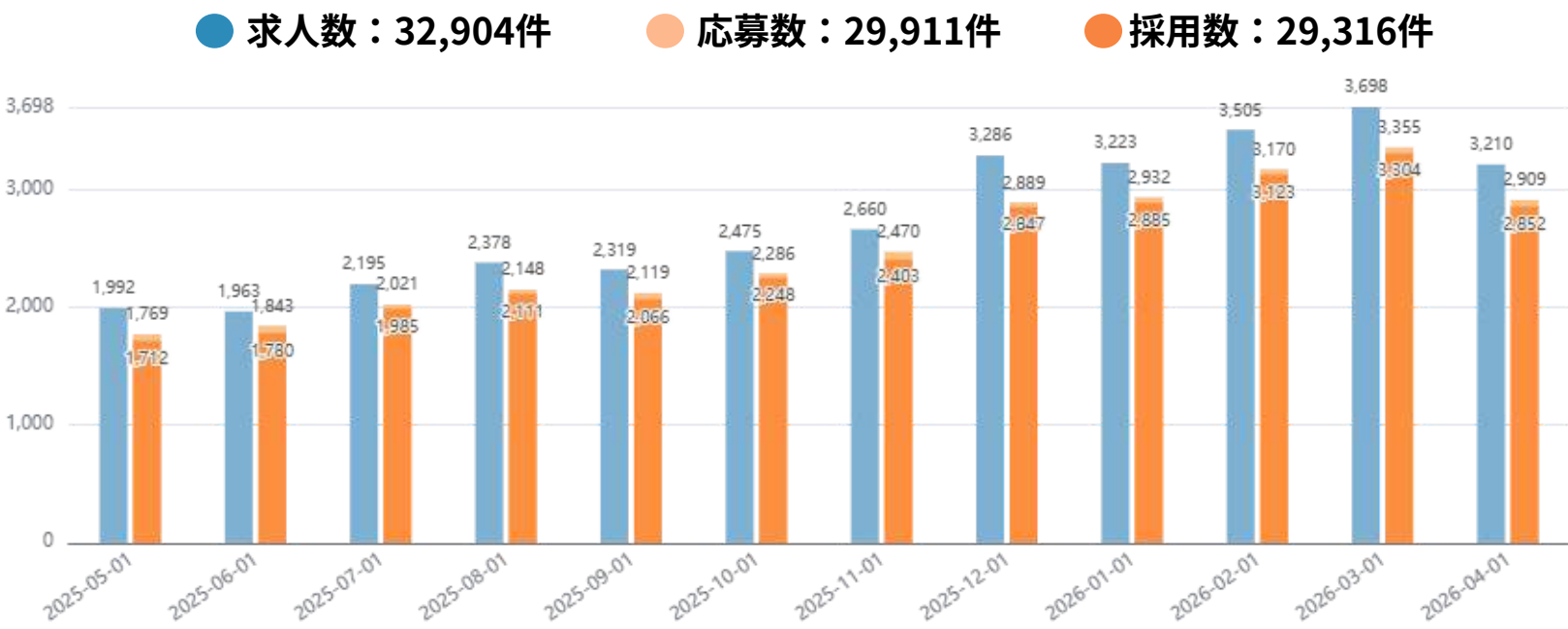
2 応募者 (男女別/世代別)



3 属性別の応募人数



4 月別の掲載と応募件数



👍 自社メンバーからの応募 95%

5 応募の内訳



6 取り組みのポイント

- ✓ 退職者向けに1日単位の復職制度を整備。
- ✓ OBOGの応募が123,063時間も発生(期間累計)
- ✓ アウトソース費用を大幅削減

OBOG 1人あたり応募件数の推移

📅 期間：2025年5月～2026年4月（12ヶ月平均）

当期企業（12ヶ月平均）

11 件 / 人・月
月 / 40～60時間の応募



OBOG 3名



現役 1名



OBOG 3名で現役スタッフ 1名に相当する労働力を確保できる



最新値
(2026年4月)

12.7
件/人・月



12ヶ月平均
11 件/人・月



最高値 (2026年4月)
12.7 件/人・月



最低値 (2026年2月)
10.3 件/人・月



変動幅 (最高-最低)
2.4 件



労働力換算の目安
OBOG 3名 = 現役 1名

OBOG 1人あたり応募件数（比較）

OBOG1人あたり応募件数の推移（比較）



期間：2025年5月～2026年4月（12ヶ月平均）

当該企業（12ヶ月平均）



11 件

月／40～60時間の応募

全国・全業種（12ヶ月平均）



8.5 件

全国平均

機械・部品・食品製造（12ヶ月平均）



7 件

製造業平均



12ヶ月平均 (2025年5月～2026年4月)	平均 (件／人・月)	最高値 (件)	最低値 (件)	変動幅 (最高－最低)
● 当該企業	11.0	12.7 (2026-04)	10.3 (2026-02)	2.4
● 全国・全業種	8.5	9.1 (2025-07)	8.0 (2026-01)	1.1
● 機械・部品・食品製造	7.0	12.8 (2026-03)	3.7 (2026-01)	9.1

サマリー

- ✓ 当該企業は全期間で最も高い水準を維持し、安定して10件超を推移。
- ✓ 全国平均は8.0～9.1件の範囲で安定推移。
- ✓ 製造業平均は変動が大きく、繁忙期（11月・3月）に大きく上昇。

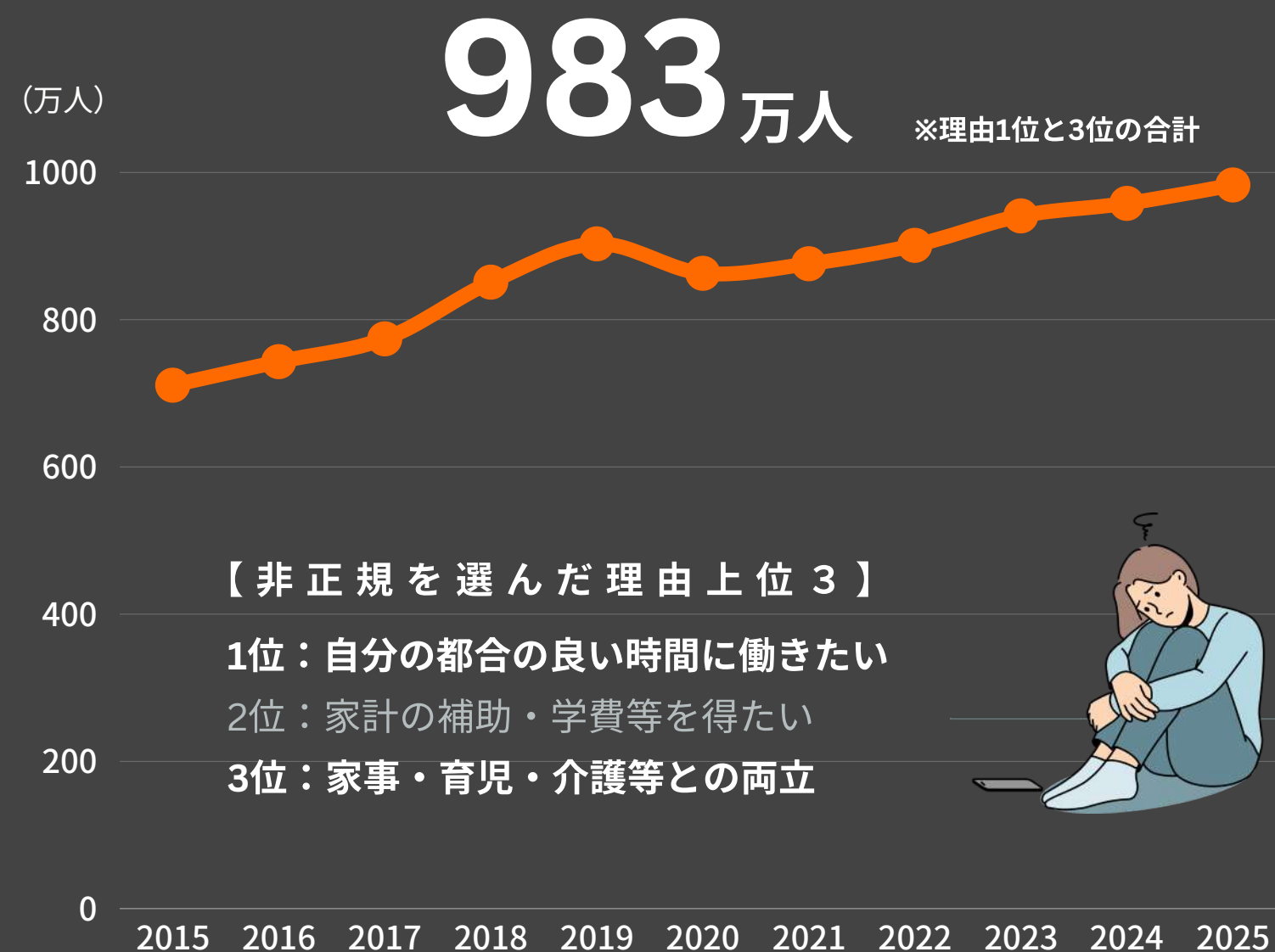
日本は、 本当に 労働力不足なのか？

- ✔ データから現状を把握
- ✔ 「眠れる労働力」を可視化
- ✔ 地域の可能性と打ち手を考える



固定勤務ができない人が増加

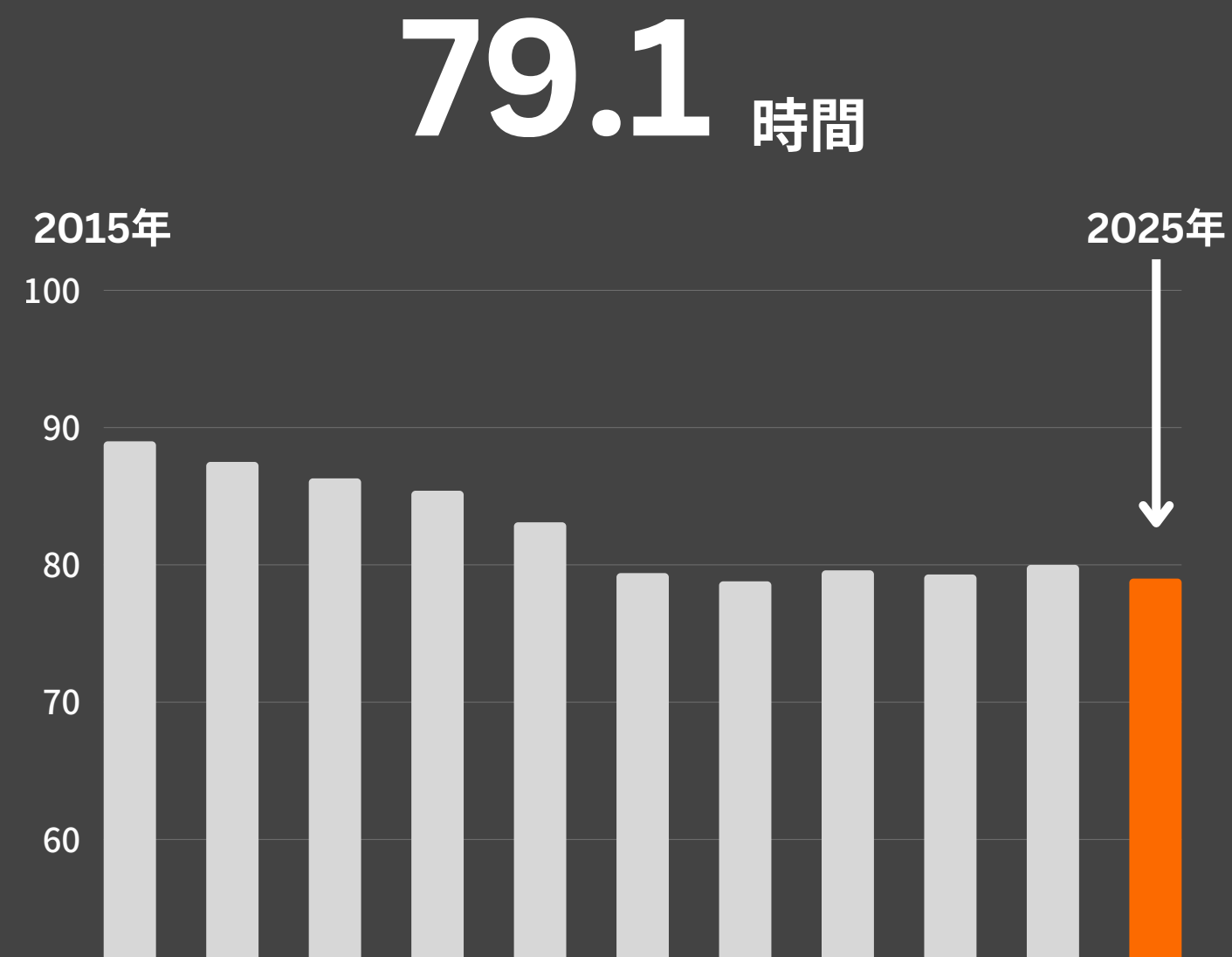
育児・介護など時間の制約により
「固定勤務」ができない人が増えている。



出典：総務省 労働力調査

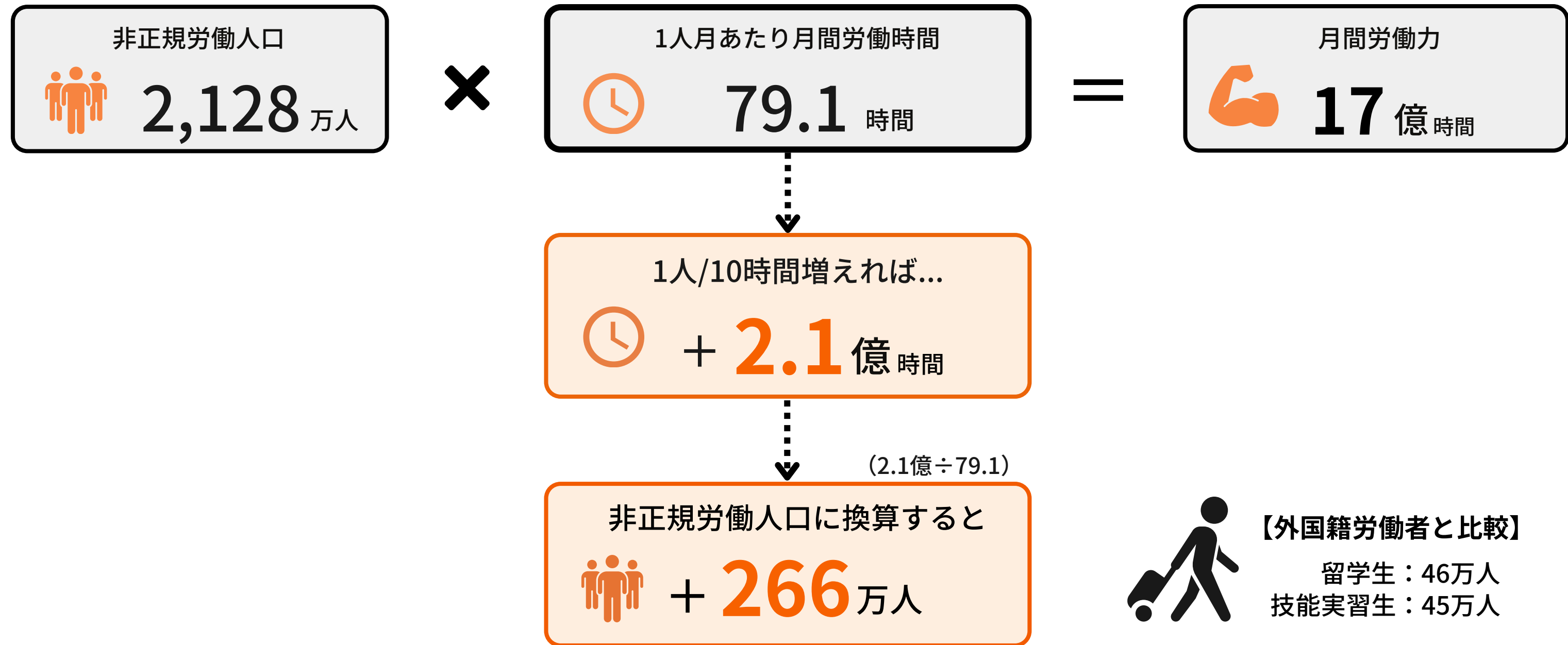
1人あたり働く時間が減少

パートアルバイトの1ヶ月に働く時間は
減少し続けている



出典：厚生労働省 毎月勤労統計調査

「労働力の確保」はできるのか？（私たちの仮設）



我が国には、膨大な労働力(エネルギー)が眠っているのでは？

日本には、

「働きたいのに働けない人」が多く存在する。

働きやすい環境整備で**労働力は確保**しうる。

地域の「眠れる労働力」 ※長野県の分析サンプル



- ①シニアの活躍
- ②育児・介護世代（女性）
- ③若年層

もったいない！

長野県の有業率：年齢別の就業状態

●長野県の人口は195万人（令和7年国勢調査結果速報より）

■男女、年齢別の有業率

年齢階級	男性	女性	合計
総数	69.4	54.9	62.0
75歳以上	23.4	11.0	16.0
70～74歳	47.9	32.3	39.8
65～69歳	↓ 66.9	↓ 48.5	↓ 57.6
60～64歳	85.0	↓ 72.5	78.7
55～59歳	91.8	85.3	88.6
50～54歳	95.3	85.3	90.4
45～49歳	95.1	85.9	90.6
40～44歳	93.4	83.1	88.3
35～39歳	94.3	83.9	89.2
30～34歳	92.6	↓ 80.8	86.9
25～29歳	94.2	84.9	89.8
20～24歳	71.3	70.2	70.8
15～19歳	11.3	15.9	13.5

■就業状態からのインサイト

① シニア

64歳～65歳の階級で有業率が21%急落

② 育児・介護世代（女性）

30歳～34歳の階級で有業率が4.1%下落

③ 若年層

地元企業の魅力を知らずに県外へ？

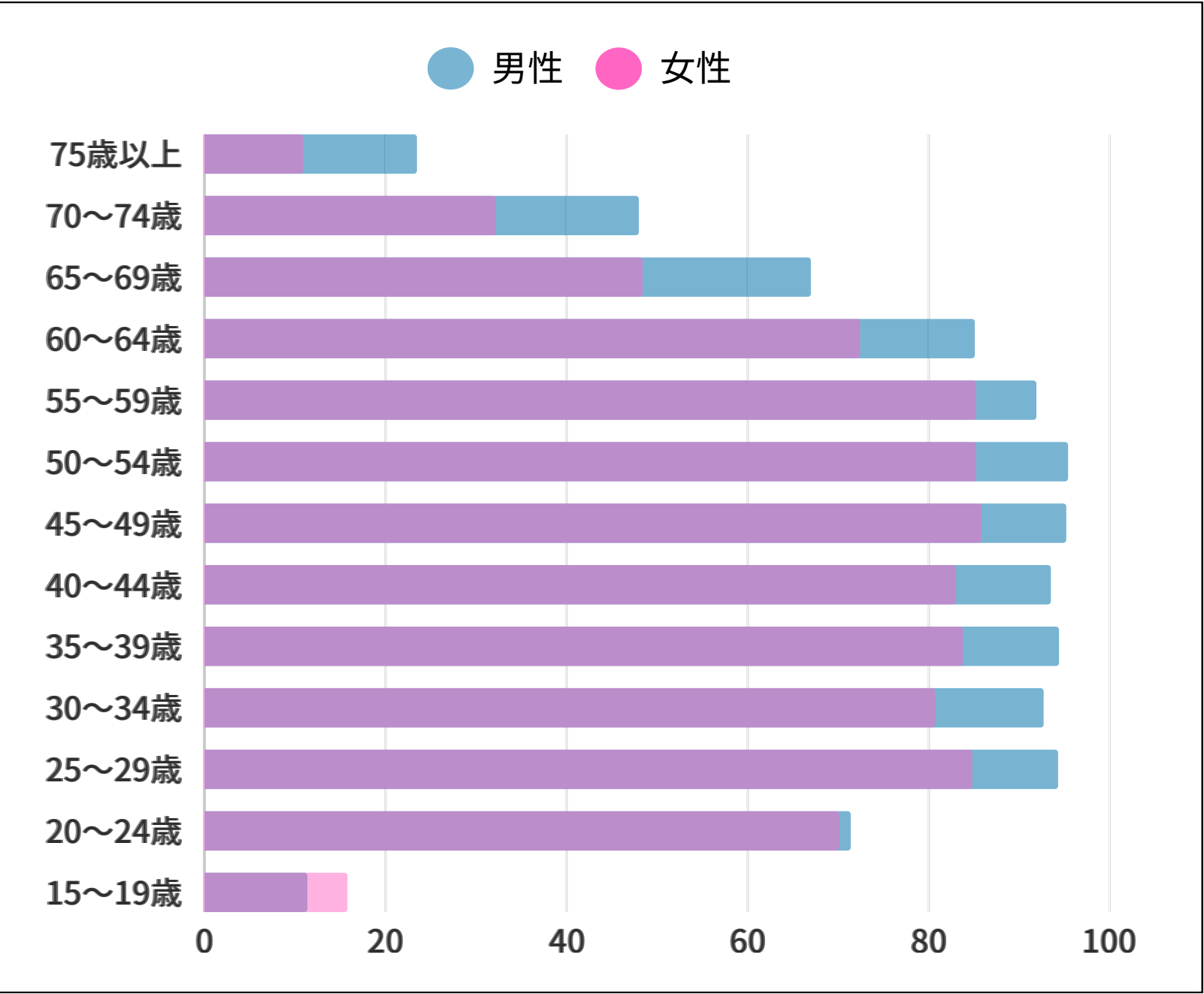
長野県への提言（地域の労働力を最大化するために）

- ✓ シニア層の活躍促進：定年後も働ける「1日単位・短時間」の仕事づくりを拡大し、経験と人材を地域に活かす。
- ✓ 女性の就労継続支援：育児・介護と両立できる柔軟な働き方を増やし、30～40代の就労継続を後押しする。
- ✓ 若年層の県内定着：地元企業の魅力発信と、学びと仕事を両立できる環境整備で、Uターン・Iターンを促進。

男女の有業率を比較。特に女性への支援が必要

●ほぼ全年齢階級で女性の有業率が男性を下回る

■男女、年齢別の有業率の比較



■就業異動の状況

前職の離職理由	(千人)
	離職者数
総数（全体）	299.9
出産・育児のため	12.6
介護・看護のため	8.3
結婚のため	9.2
定年のため	33.1
高齢・病気のため	35.7
労働条件が悪かった	30.2
自分に向かない仕事だった	18.1
雇用契約の満了のため	21.6
会社倒産・事業所閉鎖	13.5
一時的についた仕事だから	11.8
人員整理・勧奨退職	8.0
事業不振や先行き不安	9.8
収入が少なかった	19.6
家族の転職・転勤	4.7
その他	62.5



どんなライフステージでも、働ける環境が必要では？

※ 長野県総合政策課統計室
令和4年就業構造基本調査結果～長野県の結果概要～（令和5年12月）よりデータ参照

現在、無業者の方も「本当は働きたい」？



無業者の多くは、**1日単位なら働ける可能性**がある

県15歳以上人口
178万人



110万人
(有業者)

68万人
(無業者)

無業者の
就業意思



11万人
(就業希望)

57万人
(非就業希望)



非就業希望の理由

(千人)

非就業希望理由	実数
総数（全体）	572.2
出産・育児のため	7.7
介護・看護のため	12.3
家事（出産/育児/介護以外）	11.9
仕事をする自信がない	10.6
学校以外で資格取得など勉強	1.8
通学のため	80.3
高齢のため	313.3
病気・けがのため	50.7
ボランティア活動をしている	4.1
その他	35.8
特に理由はない	40.0

非就業者は「就業困難者」では？

育児者の**14%**が無業



育児者：13.9万人
無業者：1.9万人

介護者の**38%**が無業



介護者：10.8万人
無業者：4.1万人

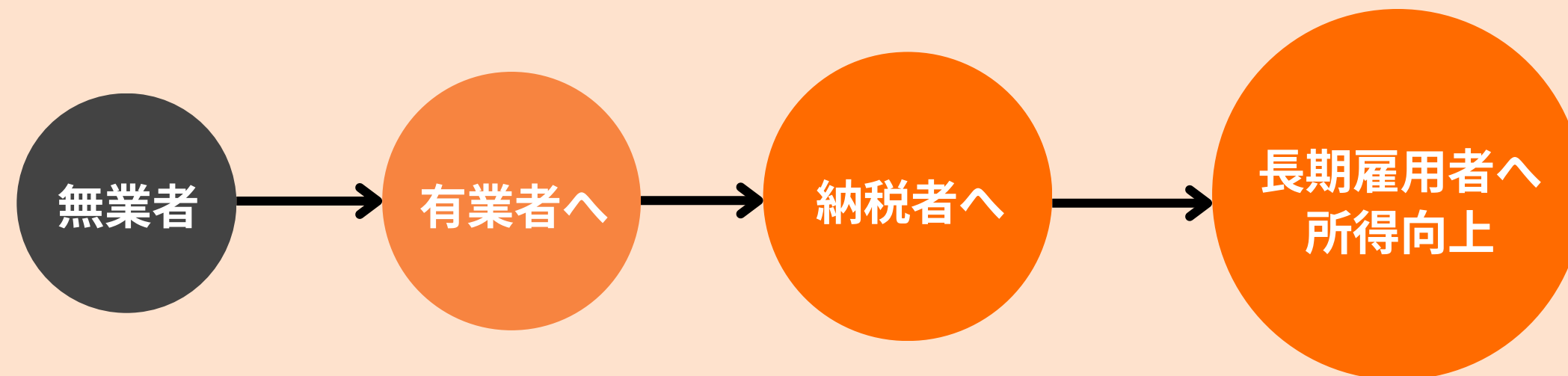


多くの人が、都合に合わせて
働ける仕組みがあれば、
社会の大きな力になる！

※ 長野県総合政策課統計室 令和4年就業構造基本調査結果～長野県の結果概要～（令和5年12月）
及び 令和4年就業構造基本調査 無業者の就業希望に関する表 よりデータ参照

地域には労働力が眠っている。

自治体と企業が、働きやすい環境を創ることが重要！



地域人財に投資！



自治体・企業

自治体マッチボックス事業での挑戦！

自治体が主導する「スポットワーク版のハローワーク機能」で、
どんなライフステージでも働ける地域づくりに挑戦。

みんなで、実践・研究！

働き方の選択肢を増やす

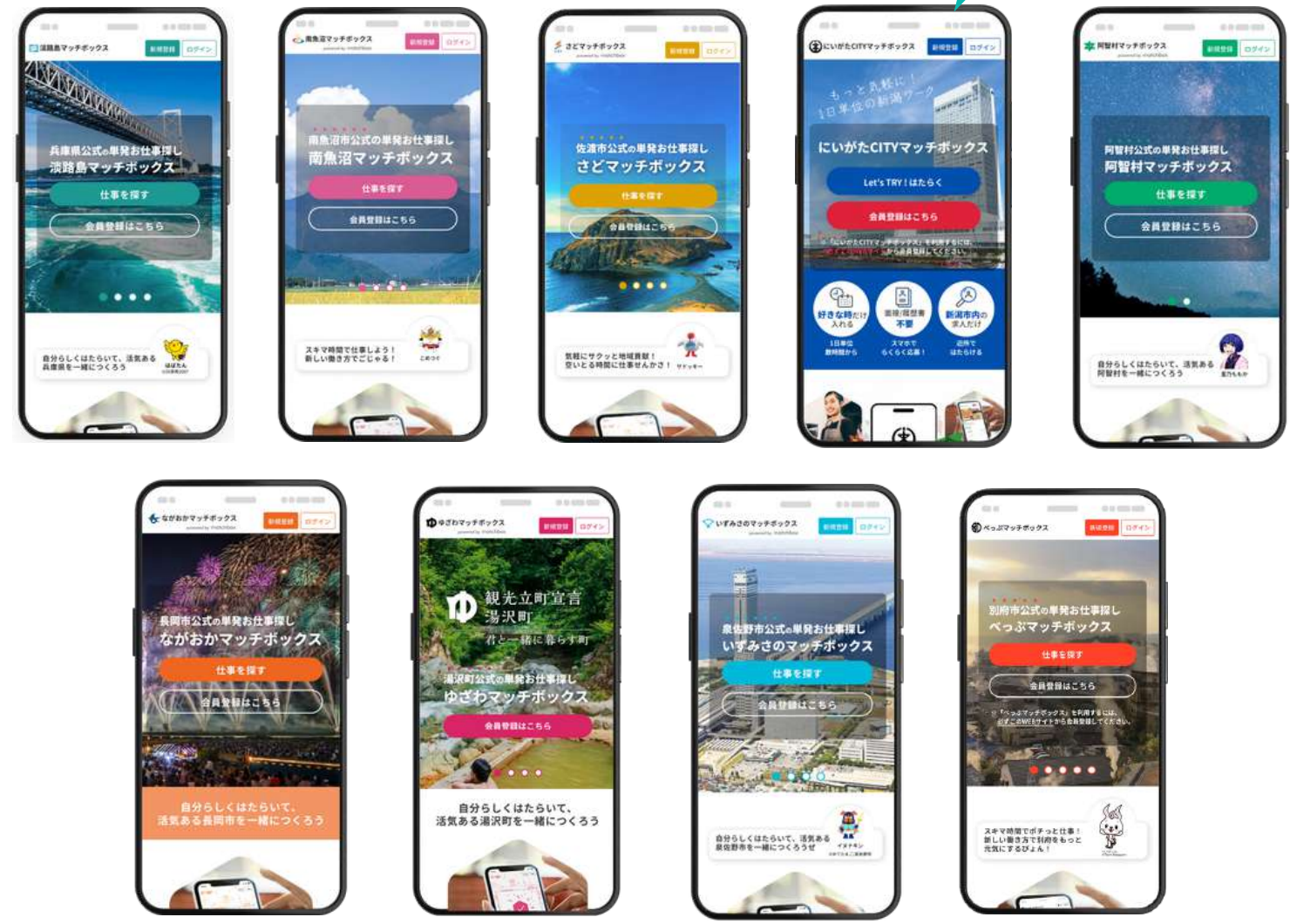
ハローワークなどの常勤雇用を前提にしたサービス
に加え、1日単位/数時間から働ける選択肢を。



固定勤務



1日単位での就業



様々なパターンで、自治体プラットフォームを開設。

■プラットフォーム開設パターン



山間モデル



離島モデル



都市/隣接モデル

市町村単独型

湯沢町 による、湯沢町 のための、
「ゆざわマッチボックス」



湯沢町 企画観光課が主体

複数市合同型

兵庫県 による、淡路地域 のための、
「淡路島マッチボックス」



兵庫県 淡路県民局が主体

県全域型

富山県 による、農業 のための、
「富山めぐりマッチボックス」



富山県 農林水産部が主体

事業の構造（取組の具体的内容）

- ①自治体マッチボックスを開設： 企業は1日単位で求人掲載でき、地域内外の求職者が閲覧・応募する。
- ②自社専用マッチボックスを企業へ提供： 企業が人財データを貯め直接マッチングを可能にする。
- ③活動状況をデータ化： 事業効果や地域の現状把握をし、雇用支援策に活用する。

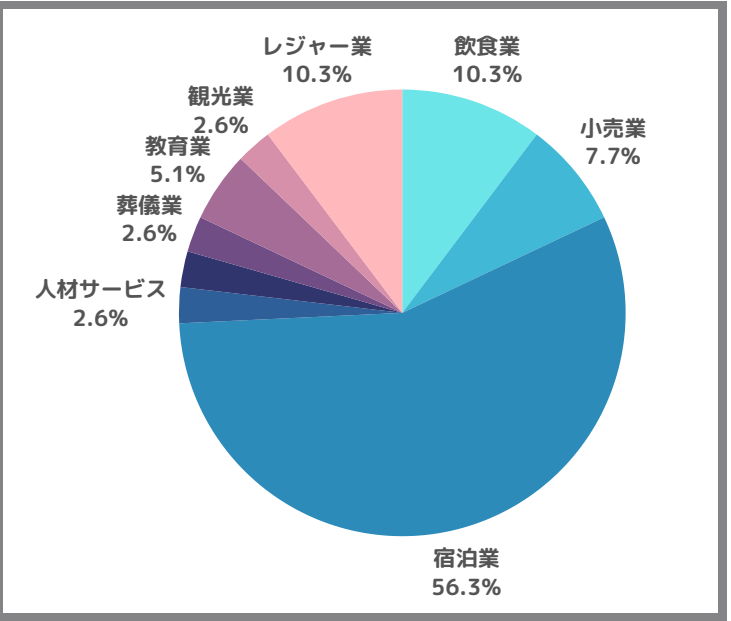


※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、湯沢町役場 企画観光課または、ゆざわマッチボックス運営事務局にご連絡ください。

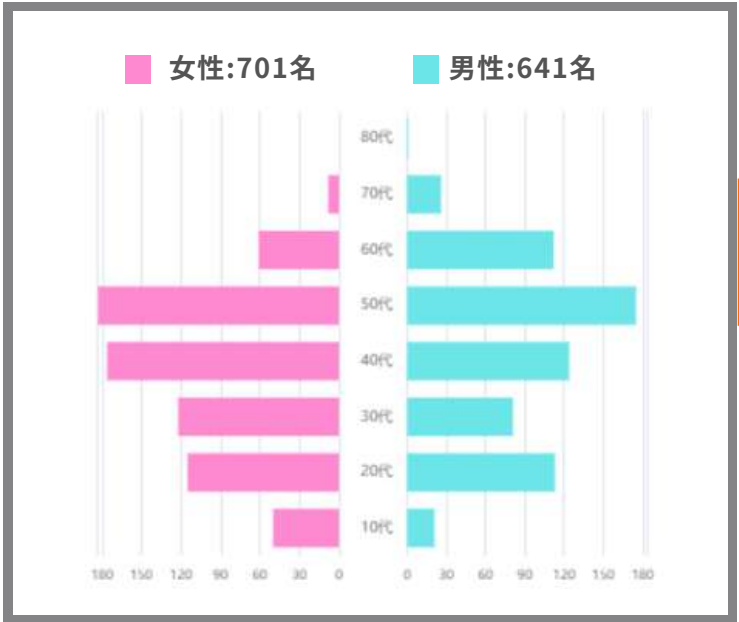


ゆざわマッチボックス
湯沢町 企画観光課

登録企業数：111社



登録人数：1,342名



■ ゆざわマッチボックス登録者の分布



主な活動データ（事業KPI）

（2022年7月～2024年8月の実績）

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、湯沢町役場 企画観光課または、ゆざわマッチボックス運営事務局にご連絡ください。



求人件数(累計)
36,009 件



応募件数(累計)
11,266 件

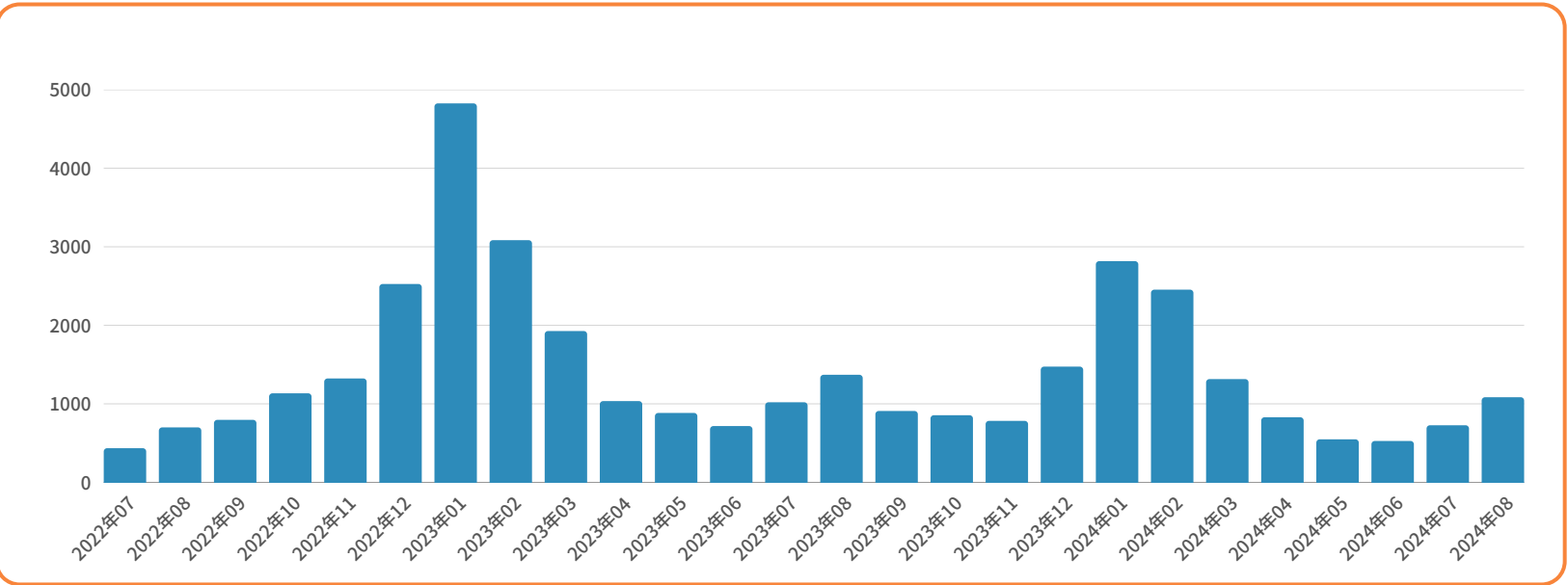


労働時間(累計)
29,083 時間

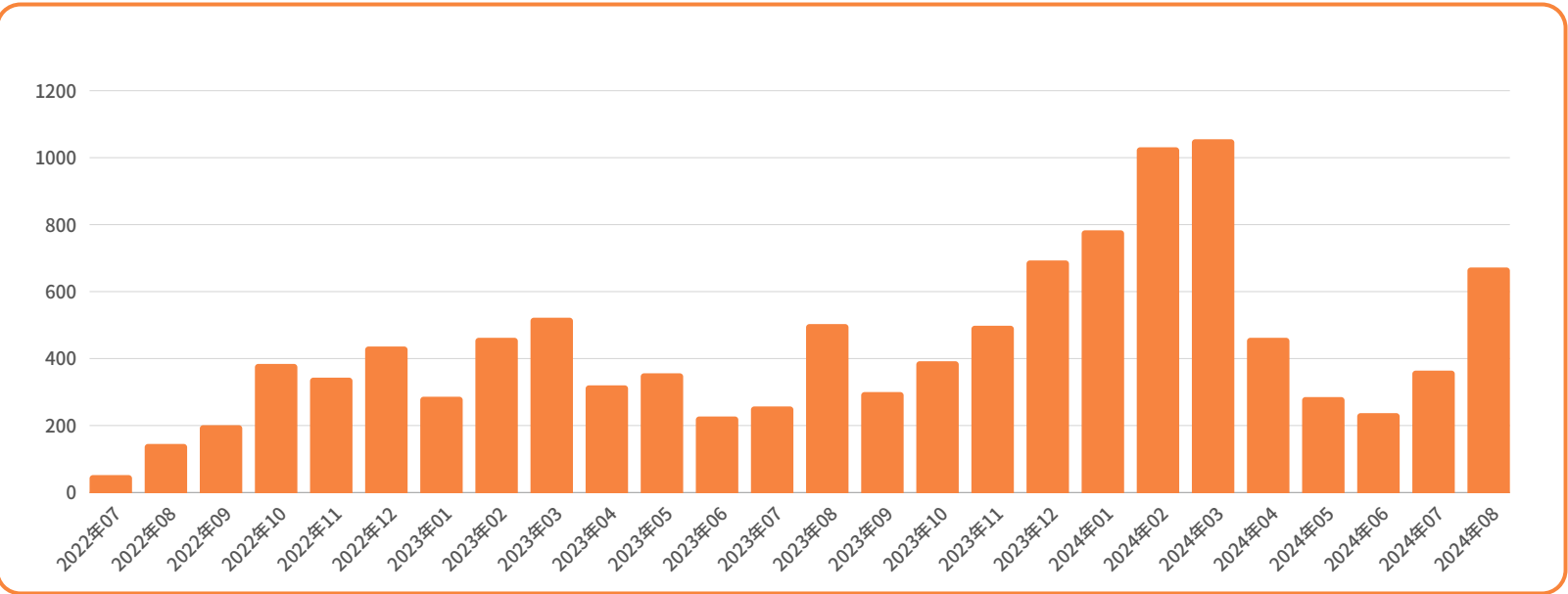


支給給与(累計)
32,135,313 円

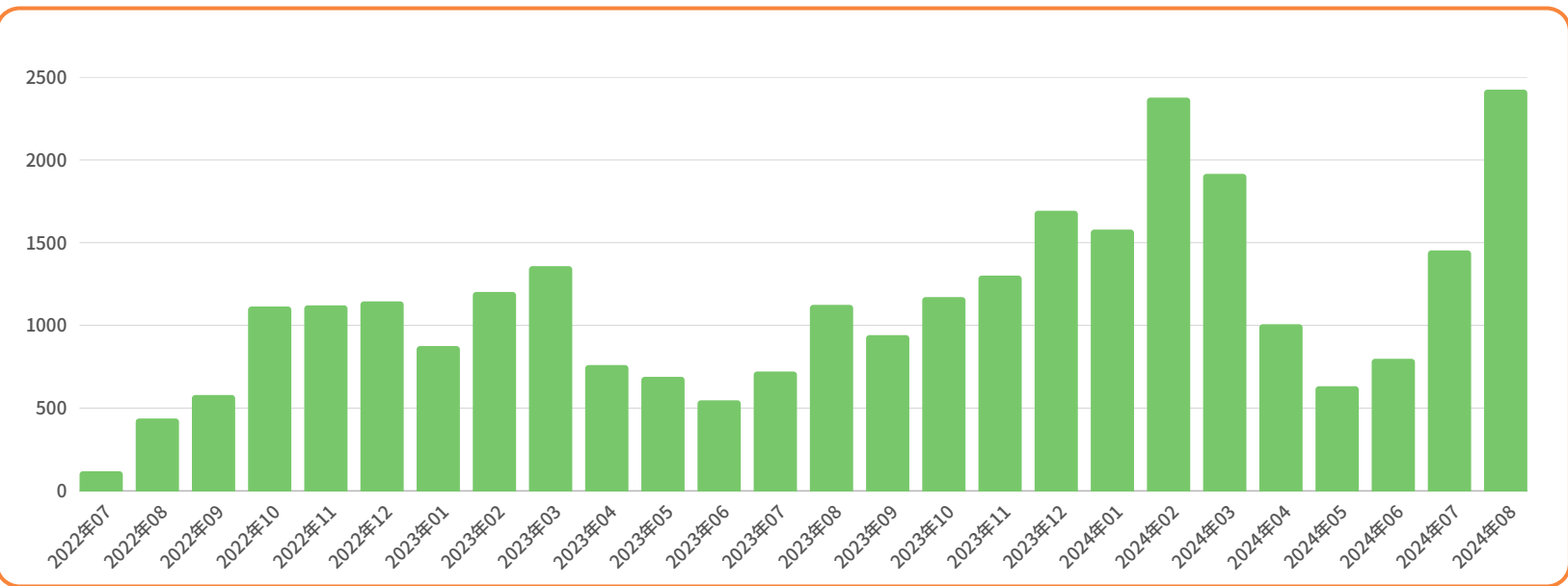
■月別の求人件数の推移



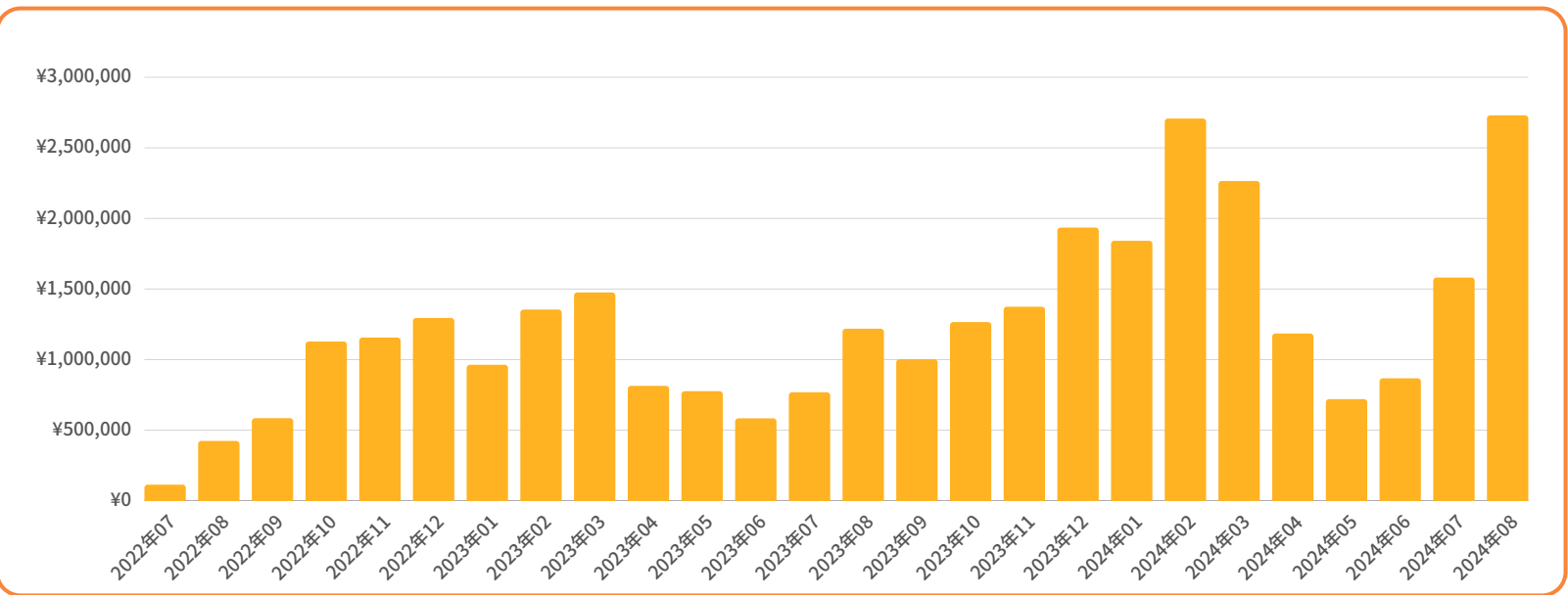
■月別の応募件数の推移



■発生した労働時間の推移



■支給給与額の推移



ゆざわマッチボックスの求職者 (応募件数の上位者サンプル)

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、湯沢町役場 企画観光課または、ゆざわマッチボックス運営事務局にご連絡ください。

地域間の交流

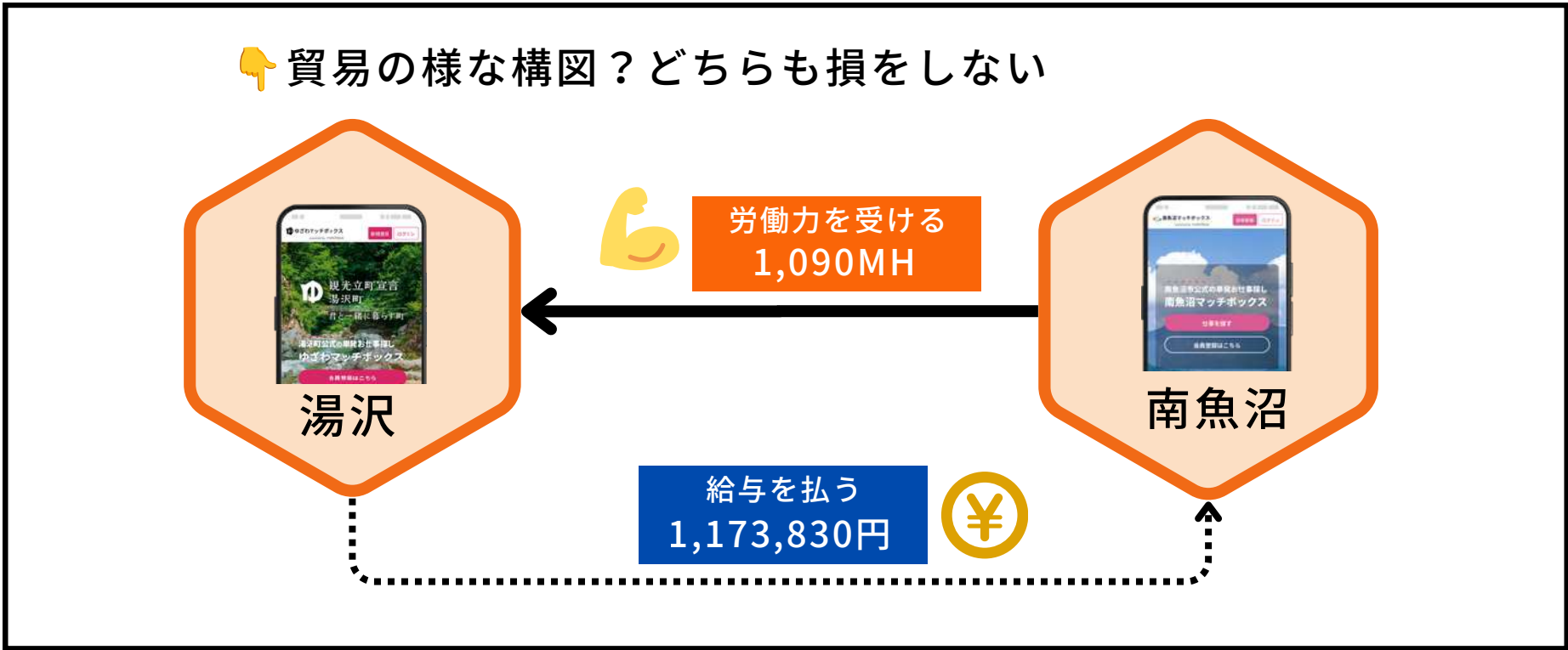
「眠れる労働力」を掘り起こした

他地域マッチボックス
登録者からの応募

	都道府県	市区町村	年齢	性別	応募件数	就業件数	就業時間	月/就業件数	月/就業時間	給与支給額
1	新潟県	湯沢町	39	女	328	218	1,462	15	97	¥1,715,454
2	新潟県	湯沢町	51	男	315	126	429	10	33	¥489,158
3	新潟県	湯沢町	42	女	279	221	803	12	42	¥877,300
4	新潟県	南魚沼市	49	女	266	153	625	6	25	¥663,200
5	新潟県	南魚沼市	46	男	207	39	211	8	42	¥234,043
6	新潟県	十日町市	56	女	203	123	501	9	39	¥553,762
7	新潟県	湯沢町	41	女	182	163	693	12	50	¥692,325
8	新潟県	湯沢町	47	女	181	121	486	6	24	¥531,013
9	新潟県	湯沢町	48	男	180	128	735	14	82	¥807,162
10	新潟県	湯沢町	18	女	147	78	223	6	16	¥277,282
11	新潟県	南魚沼市	59	男	146	39	149	5	19	¥162,737
12	埼玉県	越谷市	53	男	144	114	285	16	41	¥323,850
13	新潟県	長岡市	57	男	133	86	316	6	21	¥372,012
14	新潟県	十日町市	17	女	129	89	601	3	23	¥658,106
15	新潟県	南魚沼市	66	男	123	25	105	2	9	¥113,850
16	新潟県	魚沼市	70	男	120	49	247	6	31	¥273,137
17	新潟県	長岡市	57	女	117	59	183	5	15	¥194,554
18	新潟県	湯沢町	44	女	110	105	307	4	12	¥342,862

近隣の自治体と相互補完

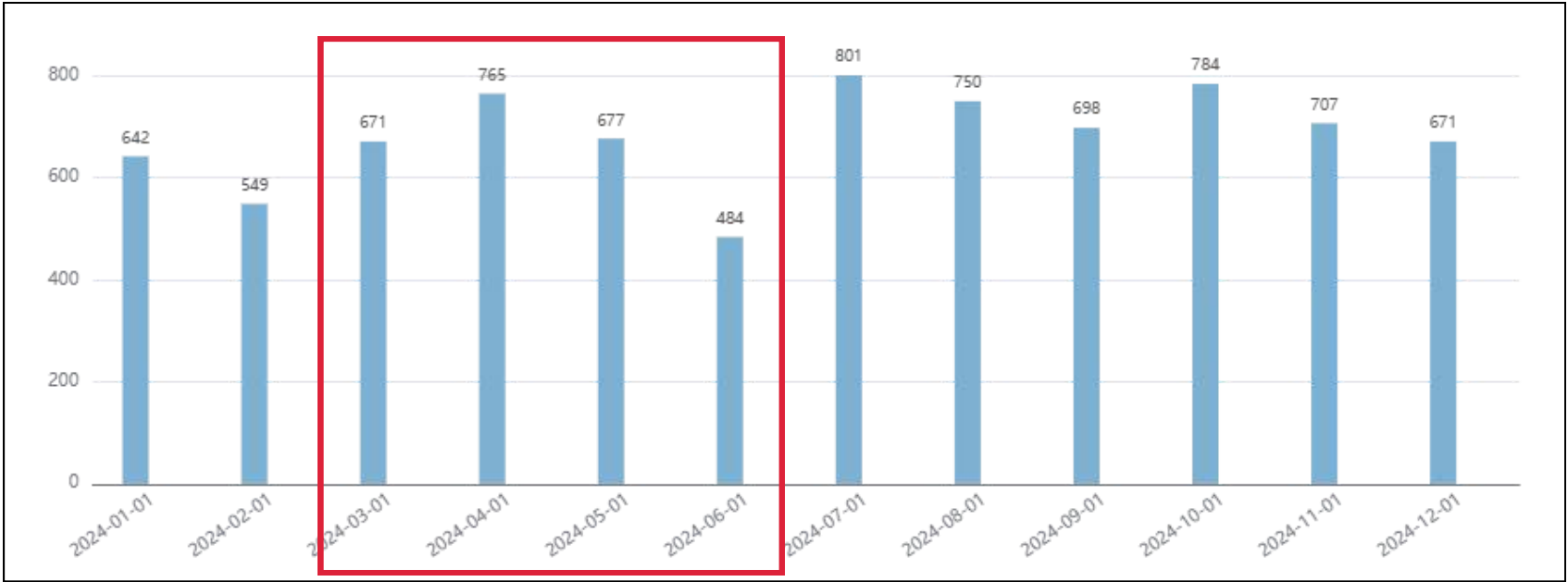
※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、湯沢町役場 企画観光課または、ゆざわマッチボックス運営事務局にご連絡ください。



■湯沢町の求人数 (2024年1月～12月) **観光業・冬場が繁忙ピーク**



■南魚沼市の求人数 (2024年1月～12月) **製造業が中心**



離島環境での事例（大都市に頼らない）

新潟県 佐渡市様の事例（導入4年目）



さどマッチボックス（2023/06/01～）
佐渡市地域振興部 地域産業振興課

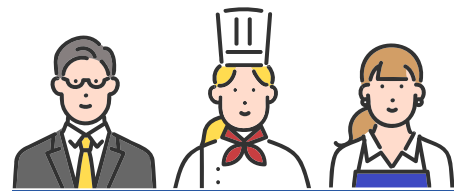
新潟県 佐渡市



「さどマッチボックス」の登録状況

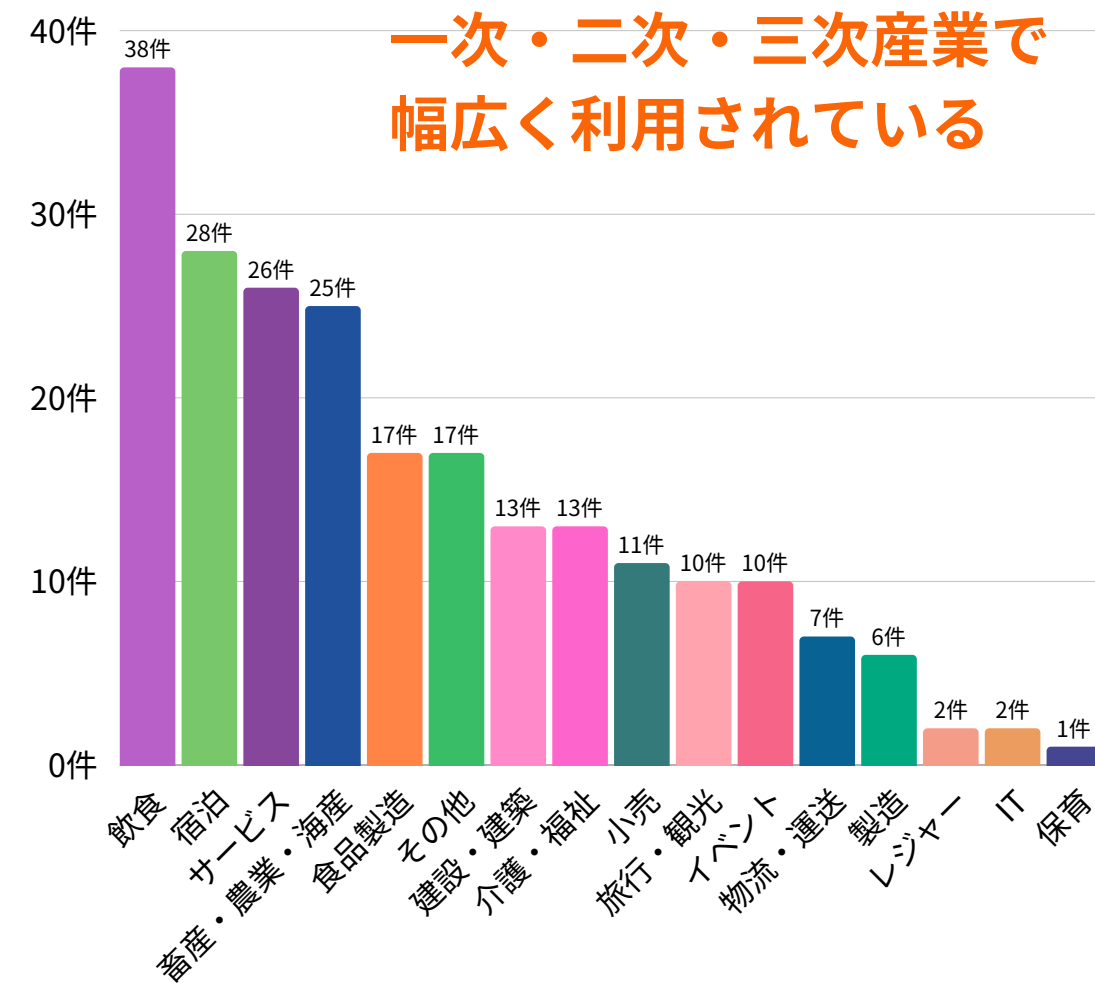
※2022年7月～2026年3月末時点

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、佐渡市地域産業振興課または、さどマッチボックス運営事務局にご連絡ください。



事業所数 **266**

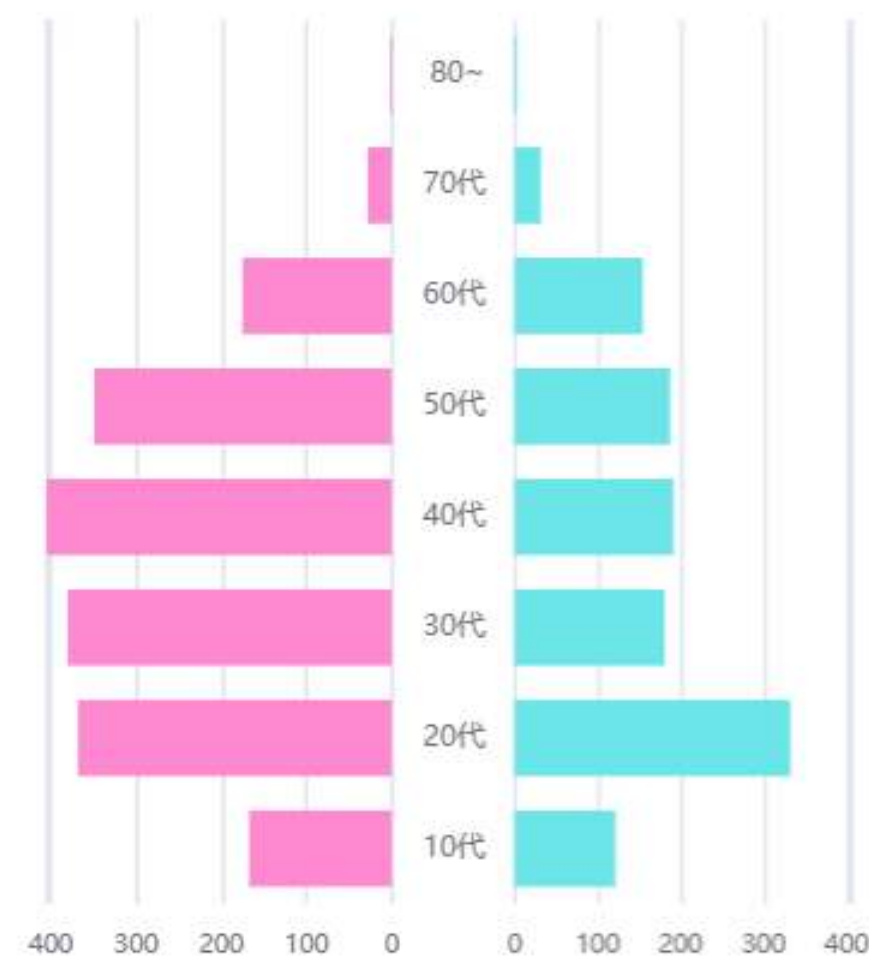
■業種別の登録事業所数



登録者 **3,080**

■男女別/世代別の登録状況

● 女性: 1,874名 ● 男性: 1,206名



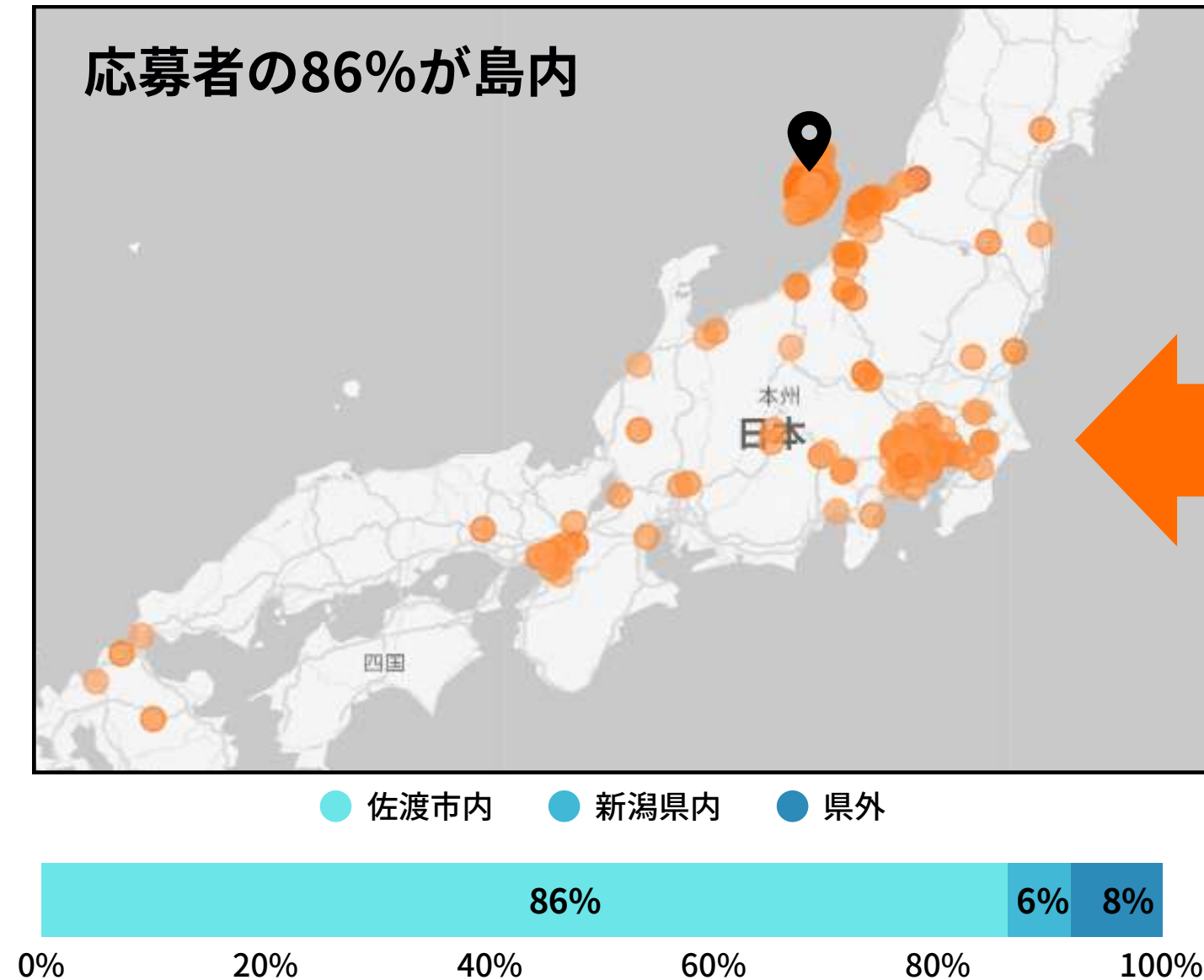
※登録者のうち、2,548名
約83%が佐渡市民。

- 佐渡市の人口 : 47,458人
- 生産年齢人口 : 24,279人

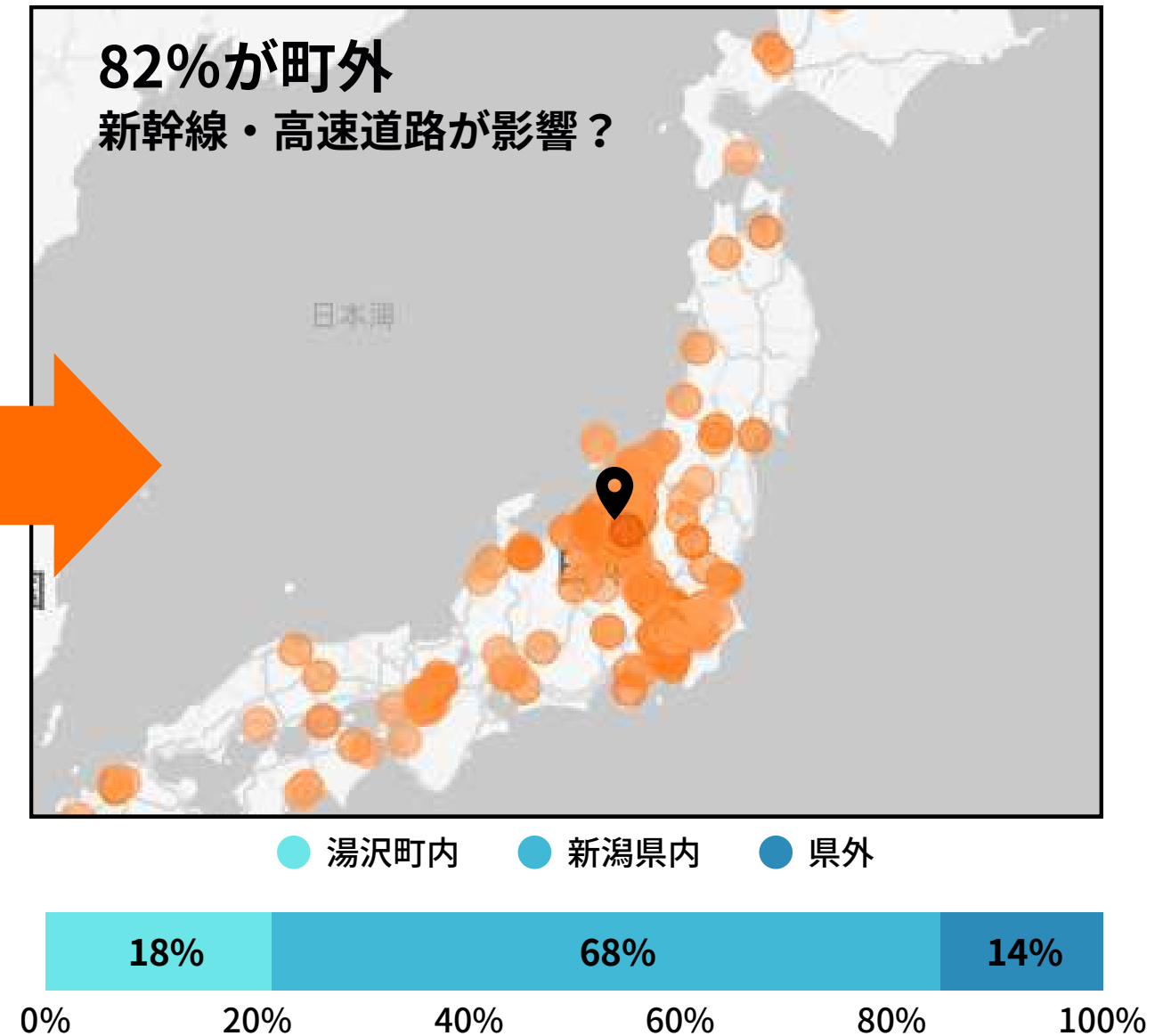
👉 生産年齢人口比で約10%が
さどマッチボックスに登録

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、佐渡市地域産業振興課または、さどマッチボックス運営事務局にご連絡ください。

■さどマッチボックス応募者分布（1,222人）



■ゆざわマッチボックス応募者分布（1,240人）



佐渡市 vs 湯沢町

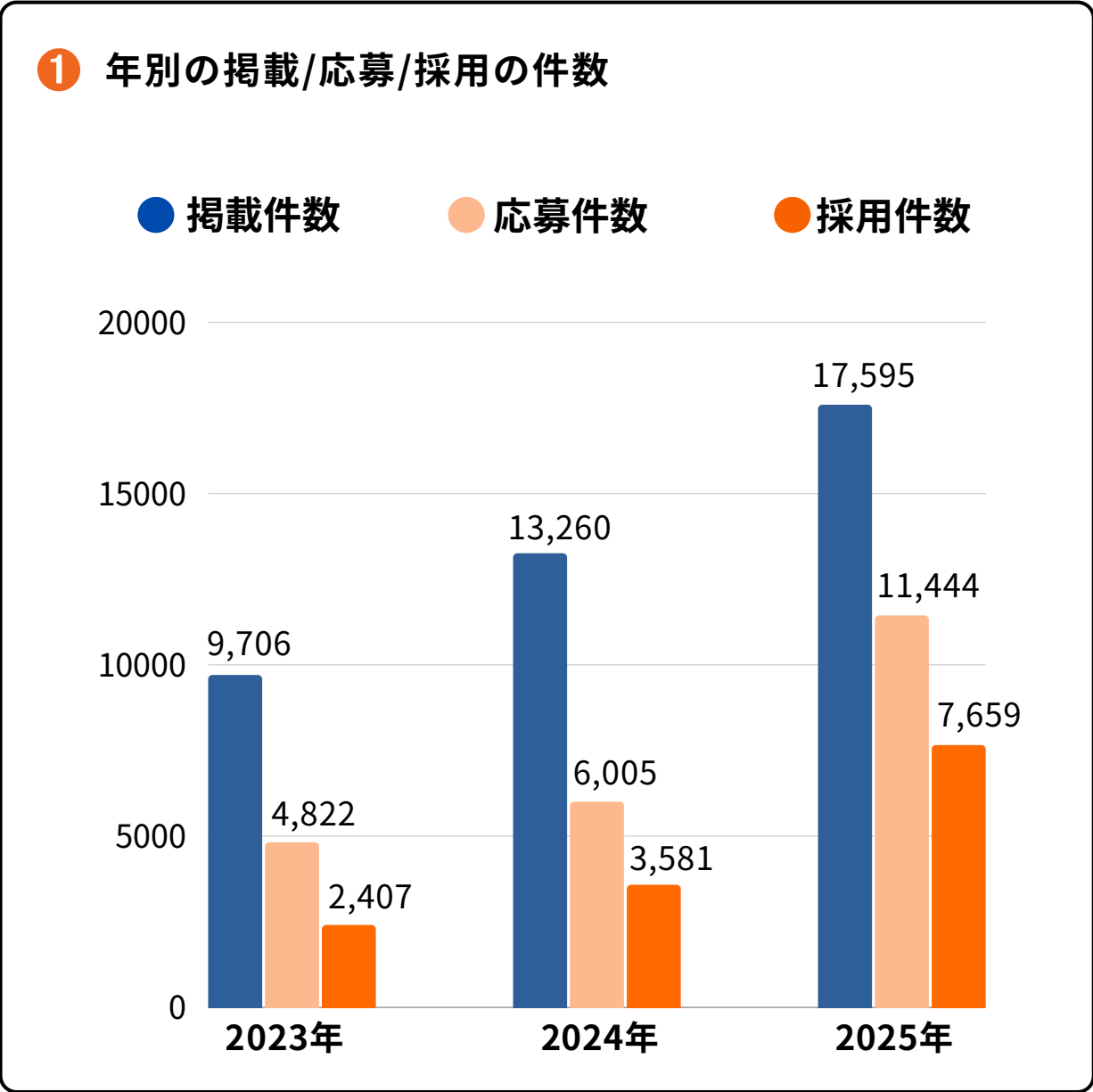


- 地方の人材不足は、一律ではなく、地域ごとに構造が異なる。
- 特に佐渡のような離島では、「地域内の人材をどう循環させるか」が極めて重要。
- ここで重要になるのが、一度働いた人と継続的につながる「セルフソーシング」の考え方。

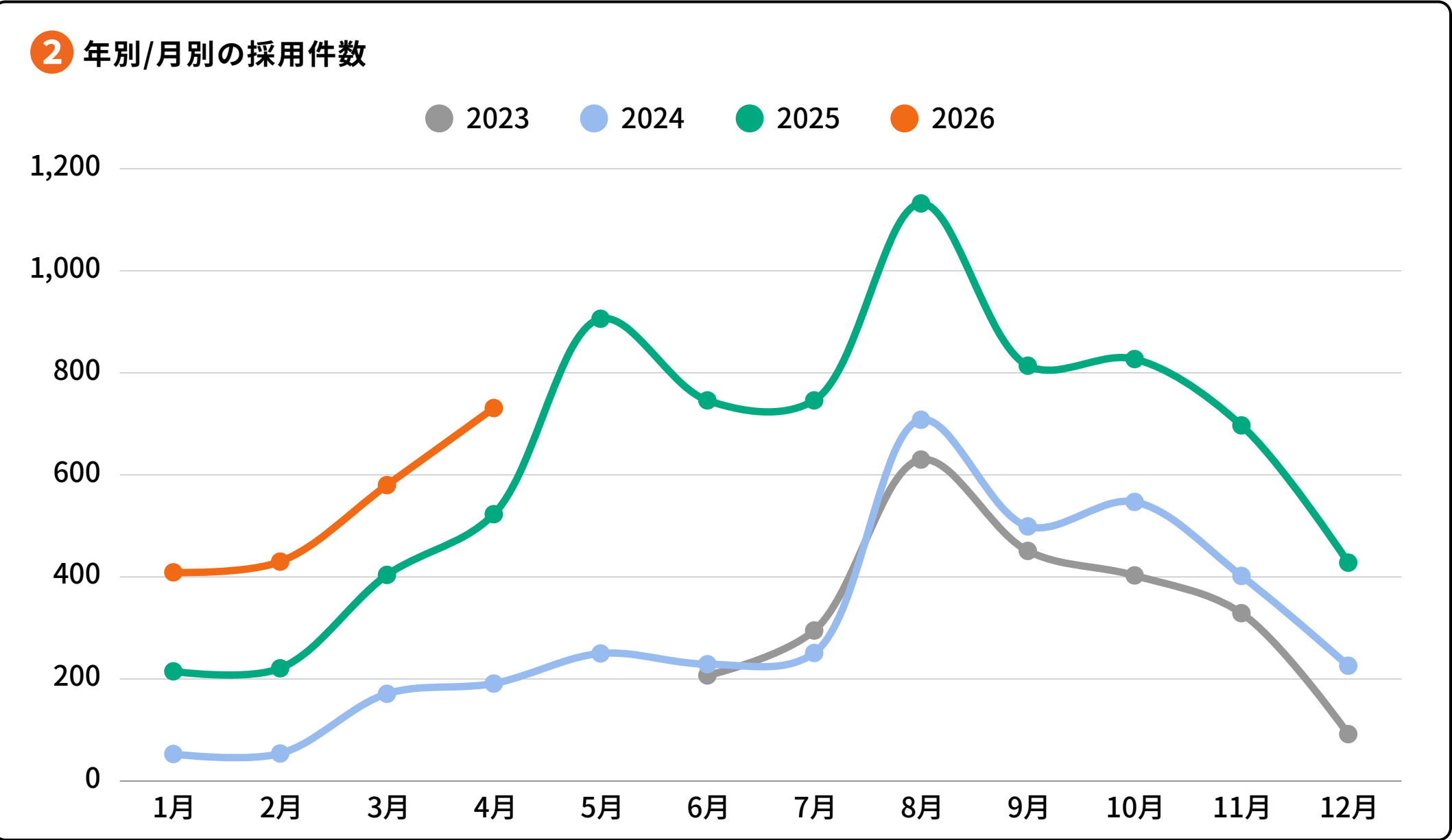
地域内で「働きやすい環境整備」が定着し始めています。

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、佐渡市地域産業振興課または、さどマッチボックス運営事務局にご連絡ください。

 開設以来、継続して活動量が増加してる



2025年: 採用件数が急増。セルフソーシング活用企業数が増加。(5社→56社)



- 【良】「働かない」のではなく、「従来の働き方では参加できなかった」求職者層が見えてきた。
- 【良】佐渡の労働力ニーズ・季節指数が見えてきた。
- 【課題】地域企業のセルフソーシングの活用に偏差がある。(OBOGや定年者の活用)

「さどマッチボックス」を活用した独自の雇用政策

※本資料の転載・二次利用を希望される場合は、佐渡市地域産業振興課または、さどマッチボックス運営事務局にご連絡ください。

地域の雇用は、地域で守る



渡辺竜五 市長。授賞式にて

【令和6年度実績】

- 登録事業所数：186事業所
- 給与総支給額：1,736,091円
- 供給労働時間：15,887時間23分
- 長期雇用に結びついた人数：38名

◎進行中のプロジェクト（独自の雇用政策）

・働きにくさを感じる若者マッチング



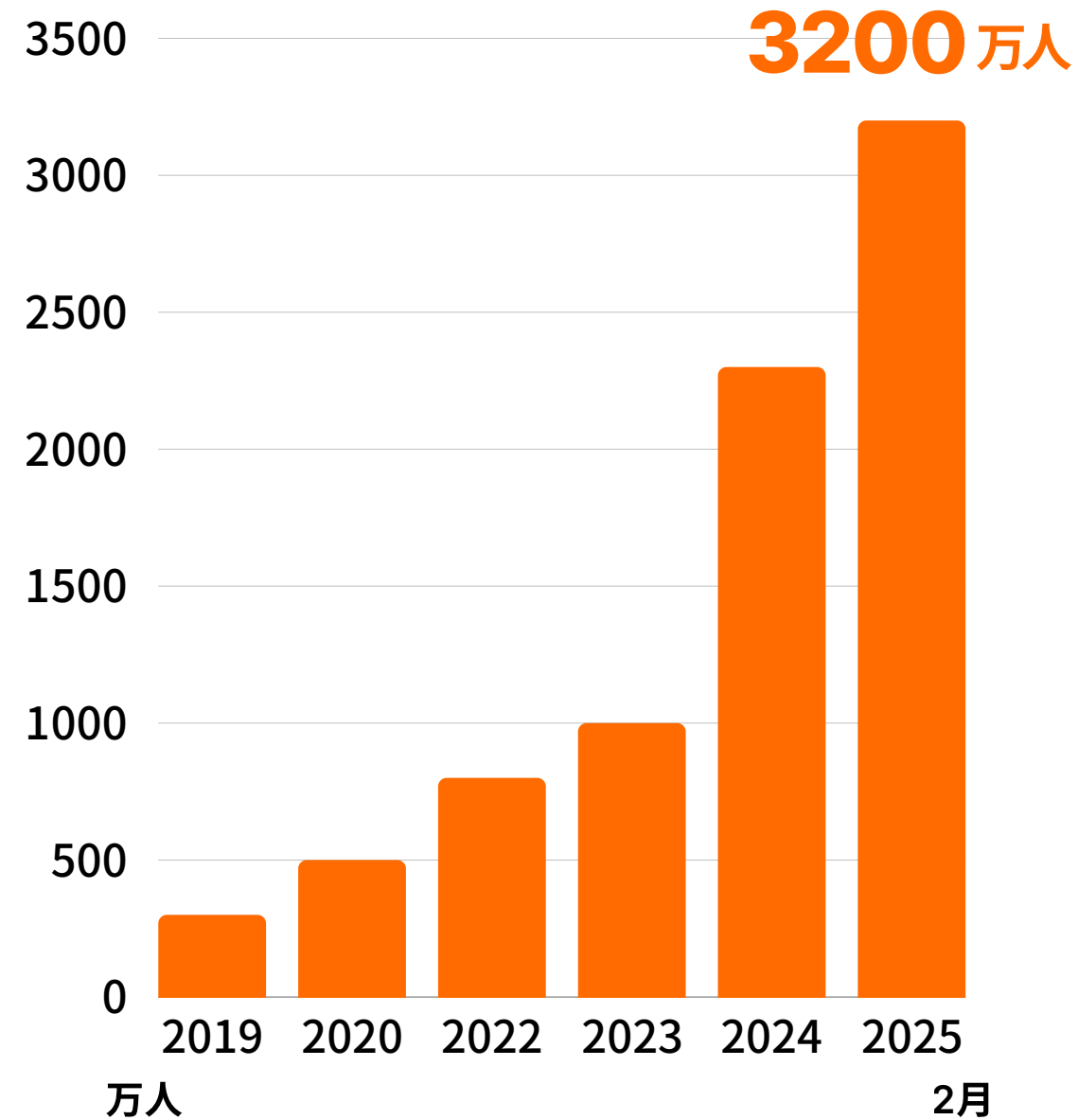
・モデル企業プロジェクト(佐渡総合病院)



スポットワーク市場トレンドと「課題」

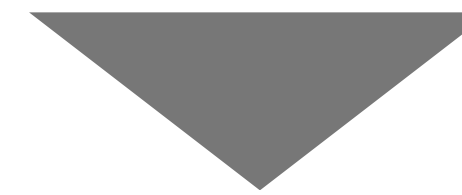
スポットワーク市場トレンドと「課題」

■スポットワーク累計登録者数推移



財務省広報誌「ファイナンス」
『スポットワーク市場の動向と展望について』 2024年12月
一般社団法人スポットワーク協会調査（2025年2月15日時点）より

スポットワーク市場は急拡大している一方、
様々な**顕在/潜在課題**があります。



“抜粹”

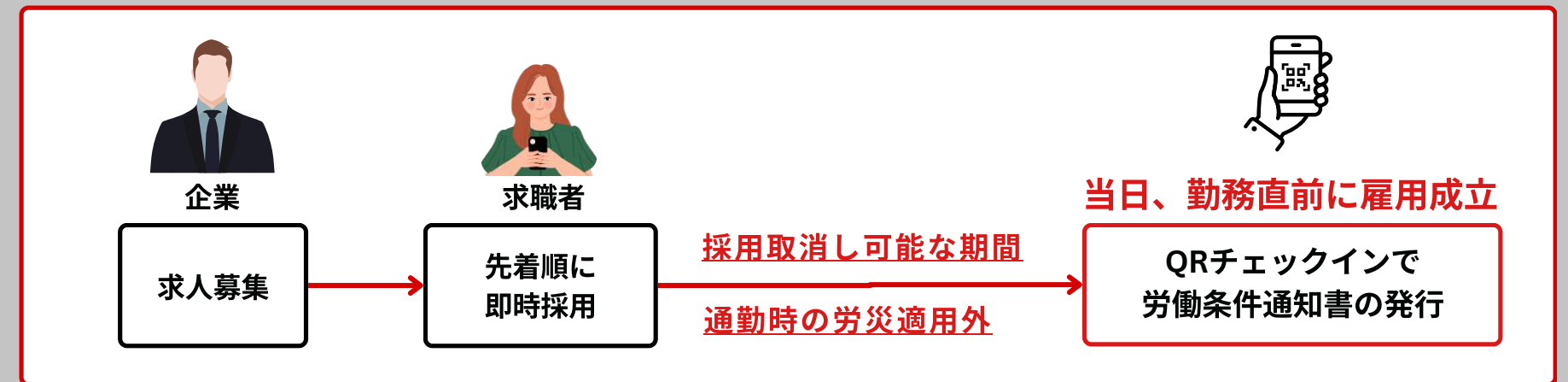
- ①企業側による一方的な採用取消。休業手当の未払い
- ②誤った所得税区分での継続雇用
- ③適切な納税と就業実態の把握

① 企業側による一方的な採用取消で休業手当が支払われない

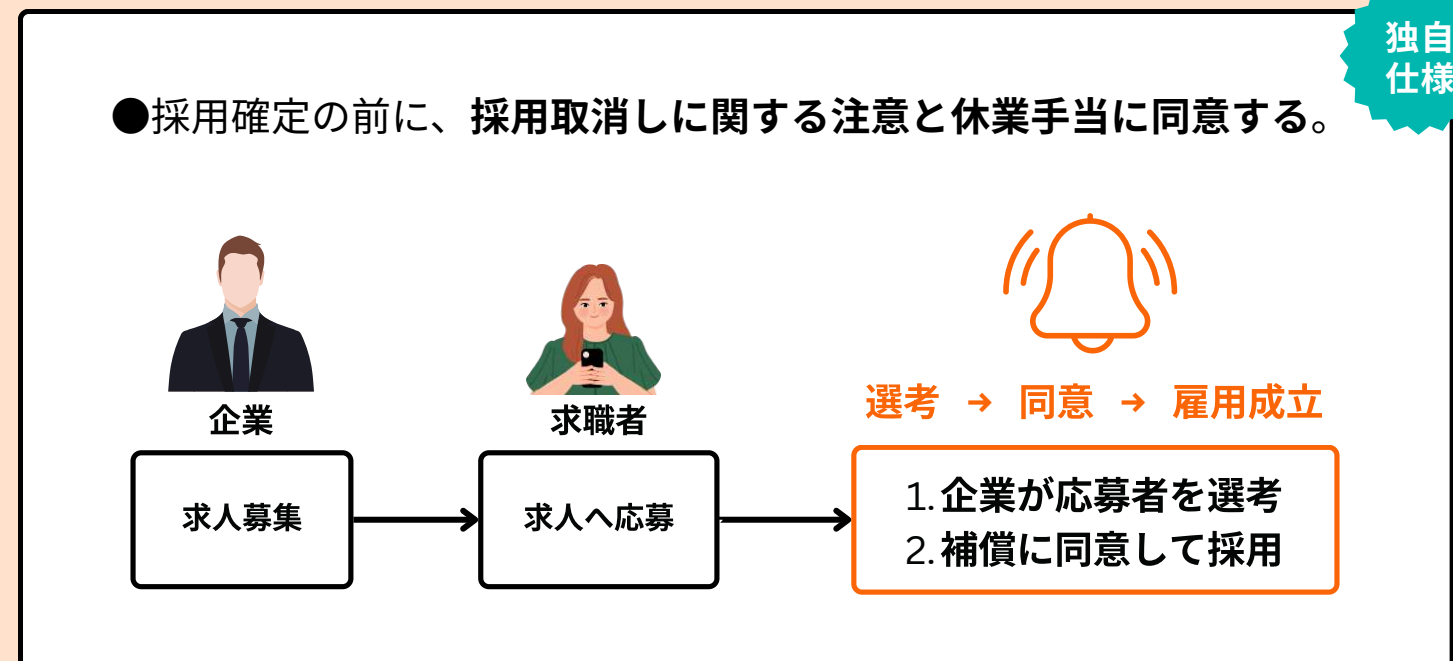
●企業側による一方的な採用取消が発生する理由

- 1.企業は選考できない。(求職者は応募と同時に即時採用)
※ミスマッチの場合、企業側は採用後に取消しせざるを得ない。
- 2.勤務当日の直前まで「雇用成立」としない。
- 3.休業手当等の補償ルールが曖昧。(労使間でトラブルに)

●構造



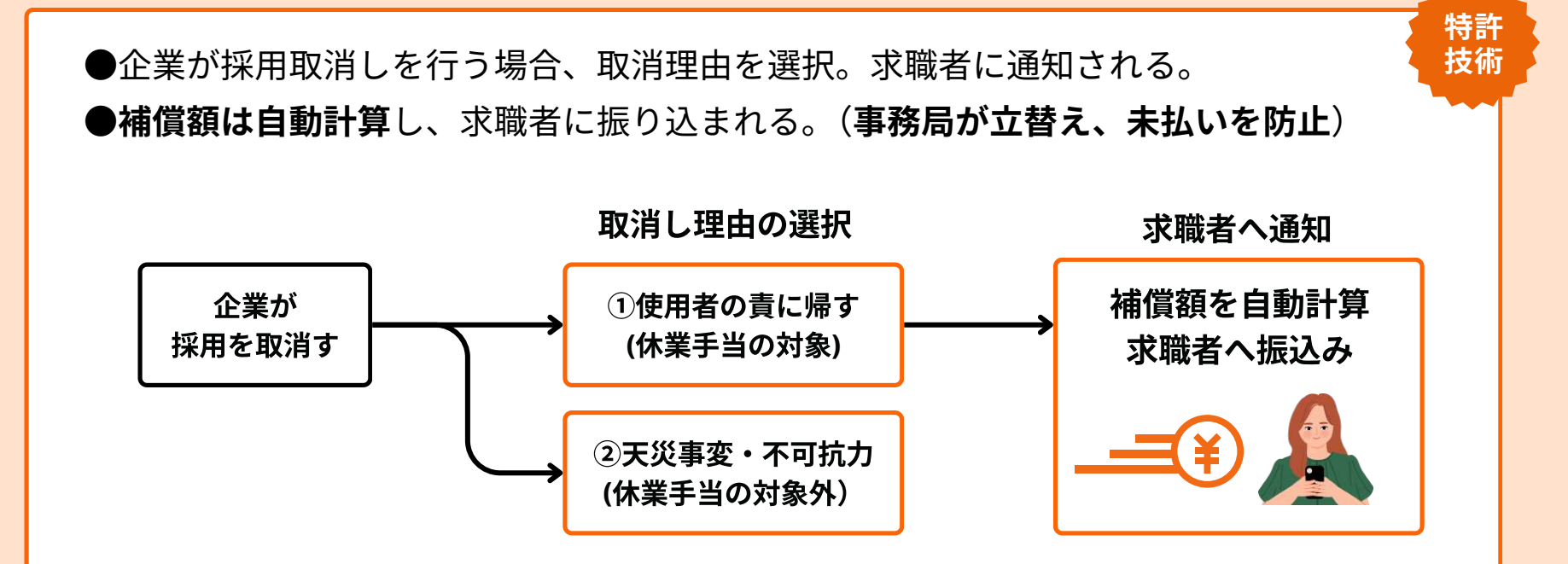
●マッチボックス：企業が選考して採用する



独自仕様

※求職者が100%採用されない。という課題もあります。

●補償の発生条件の判定を行い、金額計算と支給をする。



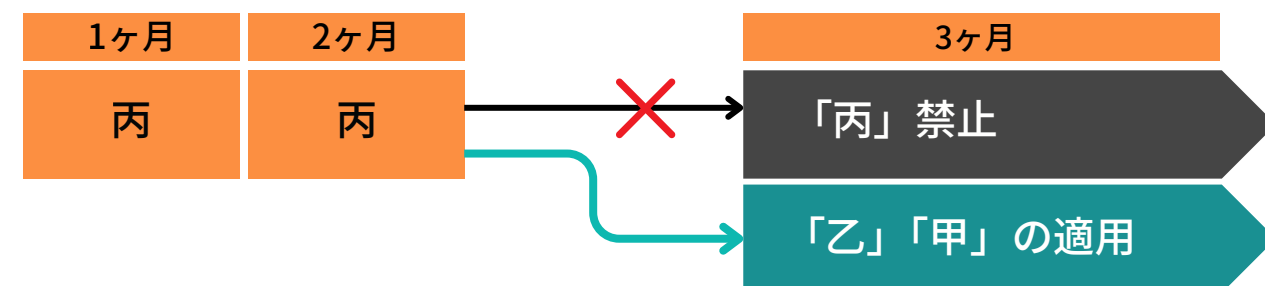
特許技術

- 企業が採用取消しを行う場合、取消理由を選択。求職者に通知される。
- 補償額は自動計算し、求職者に振り込まれる。(事務局が立替え、未払いを防止)

●一般的なスポットワークサービスは、「継続雇用を前提としていない」。

「丙」は、日雇労働者に適用される源泉徴収税額の区分。「同一法人で継続して2か月を超えて支払をしない事」とされている。

- 2ヶ月を超える場合、「乙欄」または「甲欄」に切り替える必要がある。



税区分を誤り「不足徴収」となるケースが発生している。

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月
禁止例	丙	丙	丙	丙	丙	丙	丙
注意が必要	丙	丙	雇止め	丙	丙	雇止め	丙

丙欄の適用を意図的に繰り返し源泉徴収を逃れることは、税務上問題となる可能性がある。

●マッチボックス：求職者ごと、適正な所得税区分を自動判定。

- 就業状況にあわせ「日額丙」から「月額乙」に変更。



特許
技術

慣れた職場でずっと働ける！



求職者

教育費が無駄にならない！



企業

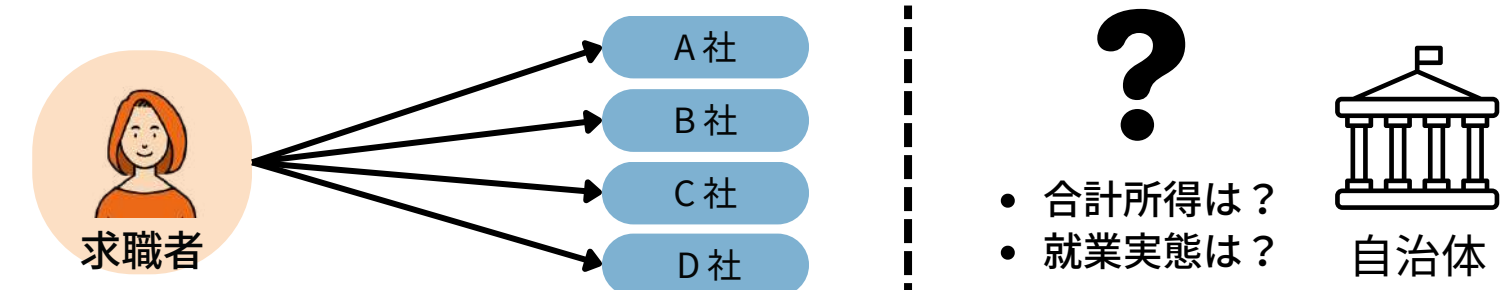
●同一企業での報酬制限を設けている。

- ①同一企業での「年間報酬」28万円未満
→給与支払い報告書の提出要件である年間30万円超えの回避
- ②同一企業での「月間報酬」78,000円未満
→社会保険の加入要件である月間88,000円超えの回避

制限による影響

●求職者は、異なる企業での就業を繰り返すことに。

確定申告を忘れると、自治体は就業実態の把握ができない。



※「丙」は、1日あたりの給与が9,300円未満であれば源泉徴収は不要。

●マッチボックスは、給与支払い報告書を1円単位から自動生成。

年次処理もラク！



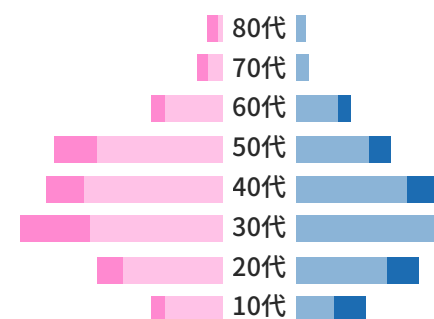
企業

- 所得税区分「丙/乙/甲」対応。
- 税務署への源泉徴収票の自動生成。

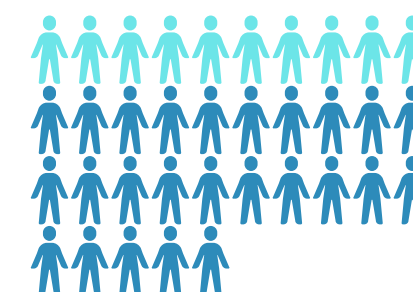
独自仕様

事業の効果検証と、就業実態の把握に活用頂けます

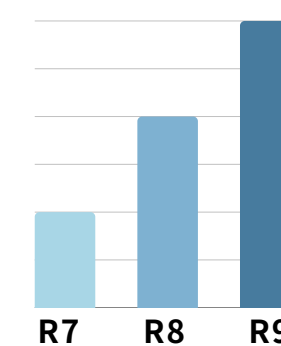
●新規の有業者は増えた？



●課税/非課税者の割合は？



●税収は増えた？



就労支援に活かす



自治体

採用取消しは慎重に。適切な所得税区分で運用しましょう。



**トラブルは予防と早期解決が原則です。
迷った時は、管轄の労働局・税務署への相談をお勧めします。**

最後に。

日本は、**本当に**労働力不足なのか？



「**眠れる労働力**」を掘り起こす。
地方自治体の挑戦は続きます！